

平成29年度  
奨学金等分科会報告書

平成30（2018）年3月

一般社団法人日本私立大学連盟  
学 生 委 員 会  
奨 学 金 等 分 科 会



## 刊行にあたって

日本私立大学連盟は、加盟大学を対象として種々の調査研究を行っているが、奨学金等に関しても、長年にわたり継続的に調査を実施している。

本書は、学生委員会に設置した奨学金等分科会が実施した「平成29年度奨学金等調査（平成28年度実績）」について、その概要と調査結果をとりまとめたものである。

言うまでもなく、私立大学は、それぞれの建学の精神に則って運営されており、学生の教育に関しても個々の理念と目的を掲げ、それらを具現するための活動を行っている。こうした教育の理念と目的に鑑み、各大学では、独自の特徴的な学内奨学金等制度を構築して、1人でも多くの学生の修学機会が確保できるよう懸命な努力を続けている。

本報告書は、このような状況下における加盟大学の学内奨学金等制度の全体像を示し、各大学での制度運用の一助となることを目的として刊行した。

本報告書が加盟各大学における学生に対する経済支援、創意工夫に溢れる戦略的支援の構築、運用に資することができれば幸いである。

平成30年3月

学 生 委 員 会  
担当理事 土 屋 恵 一 郎  
委 員 長 齊 藤 泰 治



# 平成 29 年度奨学金等分科会報告書

## (目 次)

刊行にあたって

I. 学生委員会奨学金等分科会の活動について	1
1. 平成29年度奨学金等調査を実施して	
2. 日本学生支援機構との懇談会について	
II. 平成29年度奨学金等調査結果の概要	6
1. 実施概要	
2. 調査結果について	
3. 記載データ	
4. データ設問	
(1) 全体集計	9
(2) グループ別集計	11
(3) 学生1人あたり支給額のグループ別比較グラフ	17
(4) 学内奨学金等支給実績推移表	18
(5) 支給人数と1人あたり平均支給額の推移	19
5. テーマ設問	
「奨学金業務体制に関する調査」集計結果	23
【付録】	
調査実施要項	31
データ設問調査票	38
テーマ設問「奨学金業務体制に関する調査」設問一覧	40
学生委員会委員名簿・奨学金等分科会委員名簿	
一般社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧	

### ○ 調査結果の電子データについて

上記「4. データ設問」ならびに「5. テーマ設問」に関連して、本連盟ホームページの加盟大学専用ページ内「データライブラリー」に、以下のデータを公表しています。

#### 【データ設問】

- 1) 大学別「集計総括表（本報告書9頁の個別大学版）・回答調査票」【Excel形式】
- 2) 加盟大学で平成28年度に新設された学内奨学金等制度一覧【Excel形式】
- 3) 本報告書18頁の「学内奨学金等支給実績推移表（全体123大学）」および同推移表（グループ1～3別）【Excel形式】

#### 【テーマ設問】

- 4) 奨学金業務体制に関する調査各大学回答一覧【Excel形式】

※「データライブラリー」を利用するにはあらかじめ利用登録が必要です。

# I. 学生委員会奨学金等分科会の活動について

奨学金等分科会は、学生委員会の下部組織として設置され、奨学金等の調査の実施とその分析ならびに独立行政法人日本学生支援機構（以下、「日本学生支援機構」という）等の外部機関との協議をその主要な任務としている。平成29年度の当分科会は、加盟大学の学生支援に資するために「平成29年度奨学金等調査」を実施するとともに、国の奨学金施策の多くの部分を担う日本学生支援機構と定期的な協議を行った。

## 1. 平成29年度奨学金等調査を実施して

平成 29 年度奨学金等調査は、日本私立大学連盟の全加盟大学に対して、学内奨学金等制度の状況および「日本学生支援機構」の奨学金の受給状況を詳細に調査したものである。調査項目の詳細は【付録】の実施要項を参照されたい。

当分科会が奨学金等の調査を担当するようになって今年度で 12 年目となる。多くの詳細な調査項目にもかかわらずこれを終えることができたのは、関係各位のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げる次第である。

調査については、まず、昨年度と同様に、学部・大学院ともに、授業料等の減免制度も含む奨学金等を形態別および目的別に分類し、全体の調査結果と各グループ（グループ1：学生数1万人以上、グループ2：4千人以上1万人未満、グループ3：4千人未満の3グループ）の調査結果を前年度と対比して明示した。

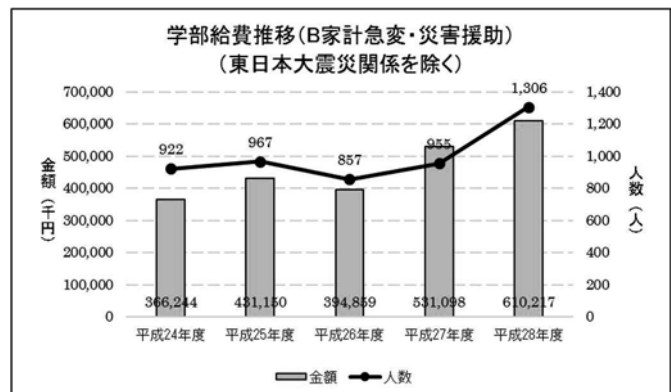
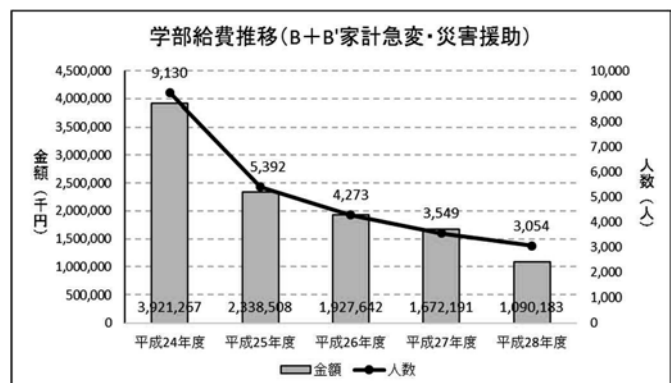
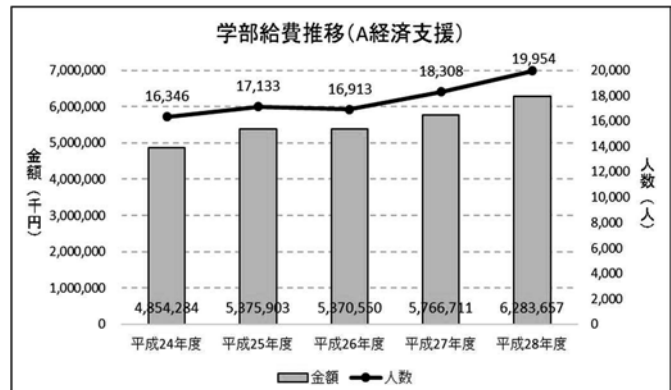
調査結果から加盟大学の奨学金等について、学部学生への支給状況を中心に、特徴的な部分を取り出して概観することとする。

【学部学生「給費奨学金」（授業料等の減免制度を含む）】

「A経済支援」については、1人あたりの給費額は前年度と変わらないが、人数・金額ともに増加傾向にある。特に金額については、平成24年度以降5年間で約14億2,937万円（約29.4%増）となっている。

多くの加盟大学において、引き続き奨学金の財源確保に努めつつ、“経済支援”に重点を置きながら、制度を拡充していることが伺える。また、大学入学前に予約する奨学金制度を経済支援策とする大学も見受けられた。

「B+B'家計急変・災害援助」は減少の一途を辿っているが、これは内数に含まれる「B'東



日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」が減少しているためである。なお、平成28年度に発生した熊本地震への対応について、一部の大学が「B'東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」に含めた回答であった。

東日本大震災発生から5年を経過したことで多くの加盟大学で被災者支援に特化した制度を段階的に終了もしくは支援規模を縮小している状況が伺える。

一方、「B'東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」を除いた「B家計急変・災害援助(東日本大震災関係を除く)」を見ると、人数・金額ともに増加していることが確認できる。これにより、震災とは関係なく家計急変者に対する経済支援は増加していることがわかる。

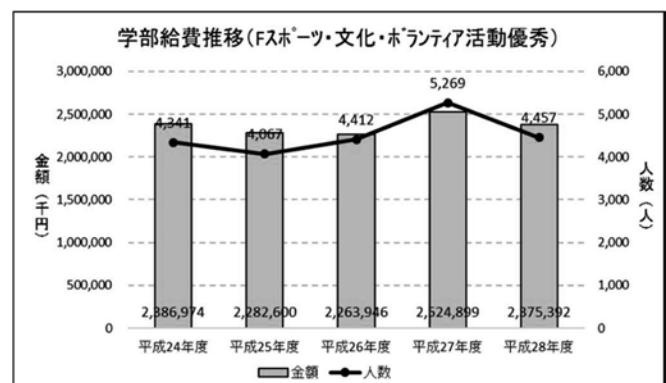
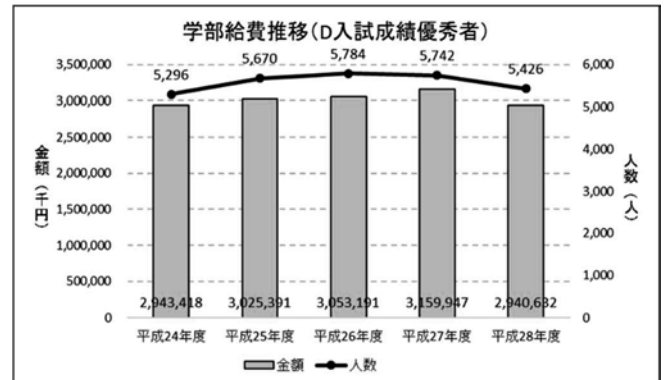
なお、＜貸与＞の「B家計急変・災害援助」の推移と比較すると、熊本地震への対応は多くの加盟大学が給費によって行っていることが伺える。

「C学業成績優秀」については、人数・金額ともに増加傾向にある。増加幅は前年度に比べて大きくなっており、併せて1人あたりの給費額も増加している。

「D入試成績優秀者」については、やや減少傾向に転じている。前述のとおり、近年増加傾向にある大学入学前に予約する奨学金制度のほとんどが、本調査では「A経済支援」にカウントされていることにも注意したい。大学によっては、入学後の育英よりも優秀な学生の確保を目指した奨学金(学費減免)の拡充に重点を置いている大学もみられる。なお、グループ1の1人あたりの給費額は他のグループより高くなっている。

「E特定試験・学術褒章・教育奨励等」は、特定試験の合格や資格取得、留学に対する語学試験の受験などを奨励する各加盟大学の取り組みの結果が数値に表れる。全体の規模が小さいため増減の振れ幅が大きく見えるが給費奨学金全体への影響は少ない。なお、学費減免による支援が増加している。

「Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀」については、前年度までは増加傾向にあったが、人数・金額ともに減少している。ただし、1人あたりの



給付額は増加している。2020 年度開催の東京オリンピックも見据え、スポーツ関連の奨学金を積極的に充実される政策をとる大学も推測される。

ここ数年「G 派遣留学生」が増加傾向である。一方で「I 受け入れ留学生」は横ばい状態である。なお、グループ 1 の 1 人あたりの給費額は受入数にも影響されるのか、他のグループより低くなっている。

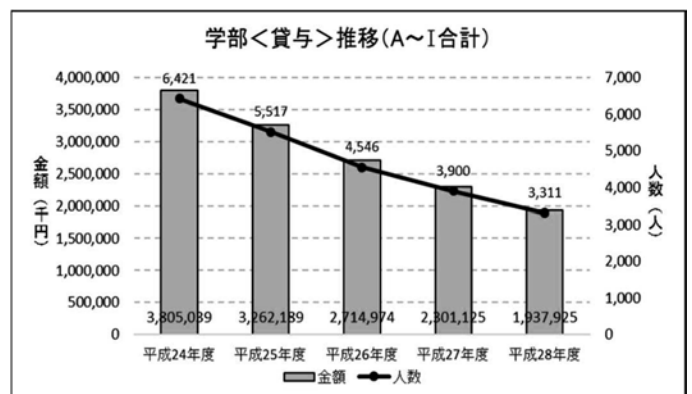
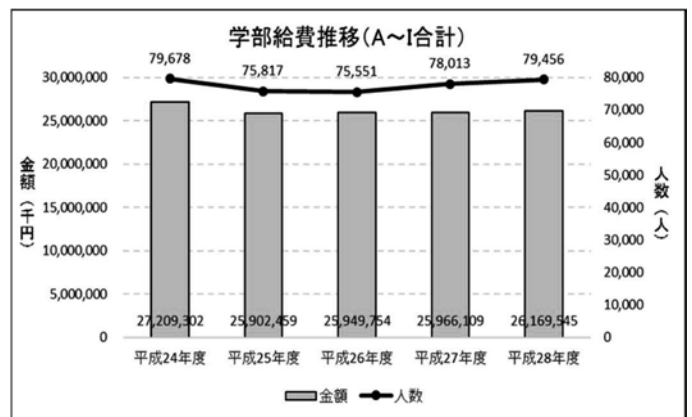
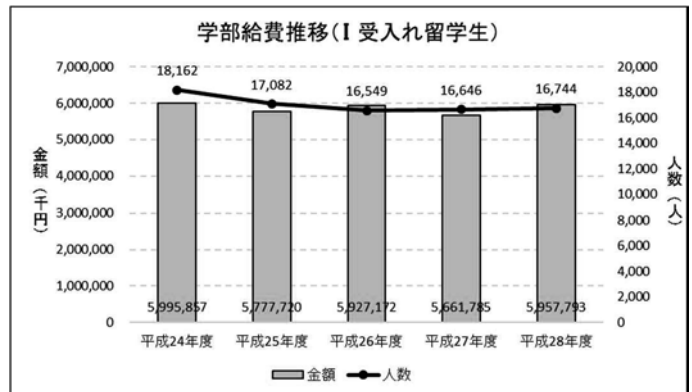
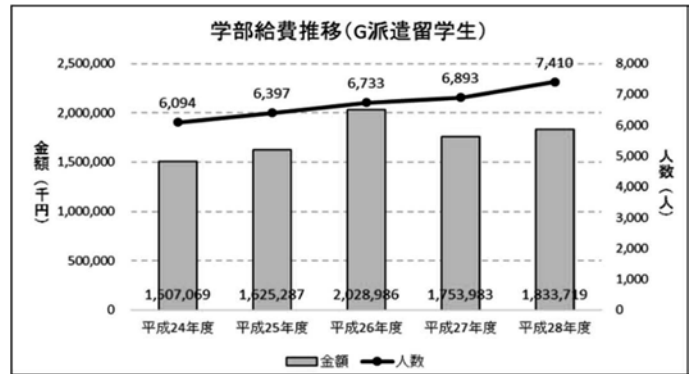
国の施策では留学生の派遣・受け入れともに国際化推進に係る重点課題に位置づけられているが、各加盟大学においては日本人学生の海外経験の機会を増やす施策をより強く推進していることが伺える。

給費奨学金全体の推移について「A～I 合計」を見ると、ほぼ横ばいか若干増加傾向のように見受けられるが、特に、奨学型（「A 経済支援」と育英型（特に「C 学業成績優秀」「E 特定試験・学術褒章・教育奨励等」）がともに増加している。このことから各加盟大学では、経済支援や学業成績優秀者支援、課外活動奨励などを目的とした奨学金を中心に、給費の奨学制度を徐々に拡充しつつあると結論づけることができる。このような拡充の傾向は、各大学が奨学金制度を重視している結果と推測できる。

また、国の給付奨学金が平成 29 年度先行実施、平成 30 年度から本格実施される。国の給費奨学金と各大学の経済支援制度とが相互に補完し合い、より多くの学生に経済的支援の手が差し伸べられていくことが期待される。

### 【学部学生「貸与奨学金」】

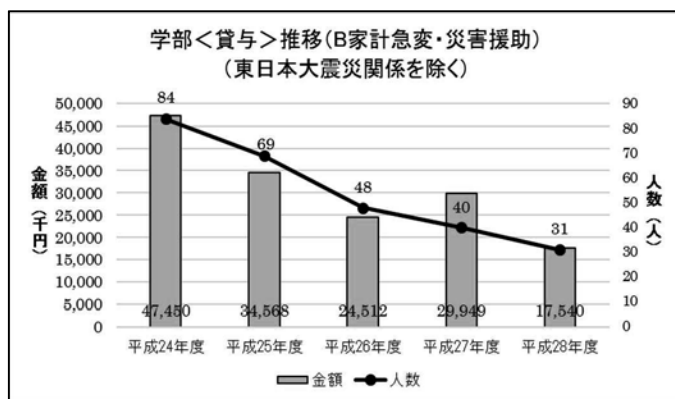
「学部＜貸与＞推移（A～I 合計）」を見てわかるように、加盟大学が実施している貸与奨学金は、人数・金額ともに年々減少の一途を辿っており、平成 28 年度には、4 年前に比べて人数・金額ともに半減している。多くの加盟大学で貸与から給費への制度移行を進めており、給費奨学金と貸与奨学金の人数・金額が相互に比例していることから給費へのシフトが順調に進んでいること





が伺える。

貸与奨学金については、日本学生支援機構が用意し、給付奨学金については、各大学が独自に用意するといったスタイルが構築されつつあると推察できる。



<奨学金等分科会委員・分析>

## 2. 日本学生支援機構との懇談会について

奨学金等分科会では日本学生支援機構と毎年2回の定期的な懇談会を開催しており、平成29年度は7月19日と12月13日に実施した。

前期懇談会では、「奨学金返済延滞率の公表」と「給付型奨学金」を、また、後期懇談会では「給付型奨学金」と「マイナンバー」をメインテーマに据え、フリーディスカッションが行われた。まず、「奨学金返済延滞率の公表」であるが、これは機構webサイトに各大学の奨学金返済延滞率が公表（平成29年4月19日）され、その後、一部新聞・雑誌等において、私立大学の学生の延滞率を強調し、国民に誤解を与えかねない記事が掲載されたことに関するものである。これについては日本私立大学団体連合会・日本私立大学連盟が声明文を公表しているところであり、この問題に対する機構の見解を求めた。機構としても、奨学金返済延滞率の公表は国民に対する説明責任として中期計画に書かれているミッションではあるが、今回の声明を重く受け止めており、このような報道のされ方は本意ではないことを確認した。

次いで、「給付型奨学金」である。これまで本テーマは3回連続（平成28年12月14日懇談会含む）で取り上げられており、本年度の採用状況および受付時の問題事例、成績基準の課題（高校側での対応のばらつき）等が共有された。また、機構からは平成30年度進学予定者の取り扱いや、適格認定（貸与型奨学金よりも厳しい基準で実施）に関する報告があった。「マイナンバー」については、機構より、平成30年度の貸与型および給付型奨学金の予約採用においてマイナンバー活用を予定していること、また、貸与型奨学金の在学採用においても活用の拡大を検討する予定であることが報告され、意見交換が行われた。

通常の懇談事項としては、前期懇談会では現行制度と新規制度に、また、後期懇談会では事務手続き等に多くの時間を費やした。現行制度では、「大学院博士後期課程の採用時返還免除候補推薦制度」の各大学の導入状況（筑波大学より2名、専修大学より1名の計3名の推薦）、「第一種奨学金」の推薦内容（基準適格者（学部・大学院）を全員推薦）を確認した。「トビタテ！留学JAPANの承認期間」について、書類の提出から承認までの期間を早めてほしい旨伝えたところ、要項等で承認できない書類を明確化し、期間の短縮を図っていききたいとの回答があった。その他、「特別控除」、「海外留学における奨学金継続手続き」、「海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）」について意見交換を行った。

実務作業に関する事項は、現場担当者の声を反映したものである。「相談窓口（電話がつながりにくい、大学ごとに運用が任されている事項への回答について）」、「各種様式」、「スカラネット、スカラネット・パーソナル、選考ソフト（JSAS）」、「海外留学支援に係る手続」等の要望を伝えた。

今後とも大学間で共通した事項である場合には、この懇談の場で要望していきたいと考えている。ご要望等を是非お寄せいただきたい。国の奨学金事業の大きな部分を担う日本学生支援機構を抜きにしては奨学金政策を語ることはできない。当分科会としては、今後とも日本学生支援機構と緊密な連携を持ち、一層充実した奨学金制度の構築に向けて、有効な関係を維持したいと考えているところである。なお、これらの懇談事項の詳細については連盟のホームページにおいて公表しているので、ご利用いただきたい。

学生委員会 奨学金等分科会  
分科会長 坂本雅士

## II. 平成29年度奨学金等調査結果の概要

### 1. 実施概要

平成29年度調査は、平成28年度調査の基本方針（加盟大学の作業負担、経年変化による分析の必要性等）を踏襲した。そのうえで、調査内容・項目について見直し作業を行い、以下のとおりデータ設問を実施した。

平成29年度調査では、これに加えて加盟校の奨学金業務体制についてテーマ設問を設け、とくに業務委託の状況について各大学の業務体制見直しの際の参考としていただくよう、web調査を行った。

#### 平成29年度奨学金等調査 実施概要

- I. 名称：平成29年度奨学金等調査
- II. 目的：加盟大学における奨学金等制度の実態、日本学生支援機構の奨学金受給状況を把握し、加盟各大学の学生経済援助施策の企画・立案に資するとともに、当連盟の各種事業活動に役立てる。
- III. 調査対象：加盟大学（123大学）
- IV. 実施期間：平成29年8月18日（金）～9月22日（金）
- V. 回答方法：「Excelによるデータ回答」形式
- VI. 調査項目・内容
  - 1. データ設問：平成28年度実績
    - (1) 学内奨学金等制度（学部学生）
    - (2) 学内奨学金等制度（大学院学生）
    - (3) 学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）
    - (4) 日本学生支援機構奨学金に関する調査
  - 2. テーマ設問：奨学金業務体制に関する調査

### 2. 調査結果について

調査結果は、加盟大学（123大学）の「全体集計」と、加盟大学を学部学生数別に3つのグループに分類した「グループ別集計」とに分けて掲載している。

全体集計（123大学）
グループ1（学部学生数1万人以上：28大学）
グループ2（学部学生数4千人以上1万人未満：38大学）
グループ3（学部学生数4千人未満：57大学）

※学部学生数は連盟「平成28年度学生・教職員数等調査」を参照した。

グループ1（学部学生数1万人以上：28大学）

（大学名ABC順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	青山学院大学	6	福岡大学	11	関東学院大学	16	明治大学	21	立命館大学
2	中京大学	7	法政大学	12	慶應義塾大学	17	明治学院大学	22	龍谷大学
3	中央大学	8	上智大学	13	國學院大學	18	日本大学	23	専修大学
4	大東文化大学	9	関西大学	14	駒澤大学	19	立教大学	24	東北学院大学
5	同志社大学	10	関西学院大学	15	京都産業大学	20	立正大学	25	東海大学

グループ2（学部学生数4千人以上1万人未満：38大学）

（大学名ABC順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	愛知大学	8	阪南大学	15	共立女子大学	22	名古屋学院大学	29	成城大学
2	亜細亜大学	9	広島修道大学	16	京都橘大学	23	南山大学	30	成蹊大学
3	文教大学	10	実践女子大学	17	松山大学	24	日本女子大学	31	西南学院大学
4	獨協大学	11	城西大学	18	桃山学院大学	25	大阪学院大学	32	芝浦工業大学
5	同志社女子大学	12	城西国際大学	19	武蔵大学	26	追手門学院大学	33	昭和女子大学
6	学習院大学	13	甲南大学	20	武蔵野大学	27	立命館アジア太平洋大学	34	創価大学
7	白鷗大学	14	久留米大学	21	武蔵野美術大学	28	流通経済大学	35	大正大学

グループ3（学部学生数4千人未満：57大学）

（大学名ABC順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	跡見学園女子大学	11	兵庫医科大学	21	国際大学	31	大谷大学	41	天理大学
2	梅花女子大学	12	兵庫医療大学	22	国際武道大学	32	流通科学大学	42	東北公益文科大学
3	筑紫女学園大学	13	石巻専修大学	23	国際基督教大学	33	西武文理大学	43	常磐大学
4	獨協医科大学	14	順天堂大学	24	京都精華大学	34	聖学院大学	44	東京医療保健大学
5	フェリス女学院大学	15	関東学園大学	25	松山東雲女子大学	35	聖カタリナ大学	45	東京情報大学
6	福岡女学院大学	16	恵泉女学園大学	26	宮城学院女子大学	36	清泉女子大学	46	東京女子大学
7	福岡女学院看護大学	17	敬和学園大学	27	ノートルダム清心女子大学	37	聖心女子大学	47	東京女子医科大学
8	学習院女子大学	18	神戸女学院大学	28	大阪医科大学	38	仙台白百合女子大学	48	東京歯科大学
9	姫路獨協大学	19	神戸海星女子学院大学	29	大阪女学院大学	39	白百合女子大学	49	苫小牧駒澤大学
10	広島女学院大学	20	皇學館大学	30	大阪薬科大学	40	園田学園女子大学	50	東洋英和女学院大学
								51	東洋学園大学
								52	豊田工業大学
								53	津田塾大学
								54	和光大学
								55	山梨英和大学
								56	四日市大学
								57	四日市看護医療大学

※グループ構成について、平成28年度調査との変更点は以下の通り。

新規加盟：大東文化大学（グループ1）

グループ変更：実践女子大学（グループ3→2）

### 3. 記載データ

(1) 集計表（全体集計）・・・9頁～10頁

a. 「I. 学内奨学金支給実績総括表」

平成28年度学内奨学金等の分類別（A～I）支給実績（学部・大学院学生別）

b. 「学生1人あたり支給金額（全体集計）」

平成28年度学内奨学金等の分類別（学部・大学院学生別）に、  
学生1人あたりの給費額（減免を含めた集計）・貸与額をグラフで表した。

c. 「II. 日本学生支援機構奨学金総括表」

①平成28年度新規採用実績

②平成28年度「第二種奨学金（短期留学）」新規採用実績

③奨学生総件数（平成29年3月1日）

(2) 集計表（グループ別集計）・・・11頁～16頁

### (3) 学生1人あたり支給額のグループ比較・・・17頁

学生1人あたりの給費額(減免を含めた集計)・貸与額を、平成28年度学内奨学金等の分類別(学部・大学院学生別)にグラフで表し、給費・貸与ごとに、グループ間の比較ができるようまとめた。

### (4) 学内奨学金等支給実績推移表・・・18頁

全体集計のみ、平成24年度から平成28年度までの学内奨学金等の支給実績推移表を作成した。

グループ別は、連盟ホームページの加盟大学専用ページ内「データライブラリー」に掲載している。

### (5) 支給人数と1人あたり平均支給額の推移・・・19頁～22頁

全体集計のみ、平成24年度から平成28年度までの学内奨学金等の支給人数の推移及び学生1人あたり平均支給額の推移をグラフで表した。

## 【参考】学内奨学金等制度分類表

### <学部学生・大学院学生>

学内奨学金等制度分類表(学部学生・大学院学生)

【別表1】

区分	分類	定義	補足
奨学型	A 経済支援のための奨学金等	経済的理由により修学困難な学生を対象とする奨学金等(もっぱら学費に充てることを前提にしたものであるが、教育ローンにかかる利子を補助するものや入学時貸与奨学金、家賃補助等を含む)	奨学生の選考にあたり、経済的要因を学業成績に優先して選考する奨学金
	B 家計急変や災害援助等のための奨学金等	家計支持者の失職・死亡等による家計急変や、火災・風水害・地震などの自然災害により修学困難になった学生を対象とする奨学金等	家計急変や災害等を主たる事由として奨学生を選考する奨学金等
	B' 家計急変や災害援助等のための奨学金等【うち東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応】	分類Bのうち、平成23年3月に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所事故により修学困難になった学生を対象とする奨学金等(校友会等や教育後援会等からの寄付金収入等を原資とする被災学生への見舞金を含む)	※上記「B」には含めず「B'」として回答ください。
育英型	C 学業成績優秀者を対象とした奨学金等	学業成績が特に優れた学生を対象とする奨学金等	奨学生の選考にあたり、学業成績を経済的要因に優先して選考する奨学金等
	D 入試成績の優秀者を対象とした奨学金等	各種入学試験の合格者の中で、特に優れた成績を修めた学生を対象とする奨学金等	奨学生の選考にあたり、入学試験成績を他の要件に優先して選考する奨学金等
	E 特定の試験・研修の受験・受講者を対象とする奨学金や、学術褒賞・教育研究奨励を目的とする奨学金等	大学が指定・認定する国家試験・研修等への受験者・受講者、当該試験の合格者、または大学内外において研究成果を認められた者に対して、その活動を支援するための奨学金等	特定試験の受験を条件とする奨学金、または学業面で特に優れた成果をあげ学内外で表彰を受けたことを選考の要件とする奨学金等
	F スポーツ・文化・ボランティア活動の優秀者を対象とした奨学金等	大学内外において、スポーツ・文化・ボランティア活動等の分野で顕著な成果をあげ、または貢献をした学生を対象とする奨学金等	スポーツ、文化、ボランティア活動等において顕著な成果をあげ、または貢献したことを、選考条件とする奨学金等
	G 派遣留学生に関する奨学金等	海外の大学に交換留学生等として派遣される学生を対象とする奨学金等(当該留学において取得した単位が認定されるものに限る)	留学生として派遣されることを要件とする奨学金等
その他	H その他の奨学金等	上記区分の「奨学型」と「育英型」のどちらにも該当しない奨学金等	(1)一つの制度に奨学と育英両方の基準があり、その基準別に対象学生を選定し、奨学金を支給する場合は、同一の名称で奨学金の分類と育英型の分類とに分けて回答してください。 (2)1人の学生に支給する奨学金で、奨学型と育英型両方の要因が含まれる場合は、支給事由の強い方の区分からA～Gいずれかの分類を選択してください。

【注】

1. 家計急変や災害援助等のための奨学金等のうち、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故への対応については、「B」には含めず「B'」として回答ください。
2. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
3. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。  
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
4. 奨学金や減免制度といった名称、支給業務の取扱部署、支給根拠規程等にかかわらず、表彰制度等による報奨金並びに商品券や図書券のように給費する金額が明確なものは奨学金として取り扱う(賞状や記念品等のように、明確な金額が確定しないものは除く)。

### <受入れ留学生>

学内奨学金等制度分類表(受入れ留学生)

【別表2】

区分	分類	定義	補足
I	受入れ留学生に関する奨学金等	受入れ留学生を対象とする奨学金等(入学金免除や奨励金、家賃補助、授業料減免等を含む)	

【注】

1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。  
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が確定しないものは除外する。商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱う。

## 4. データ設問

### (1) 全体集計

大学名	全体123大学
-----	---------

【学生数】平成28・27年5月1日現在

	平成28年		平成27年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	968,572	49,566	950,188	50,184
うち 交換留学生	1,327	124	707	127
うち 国費留学生	59	728	42	747
うち 私費留学生	18,653	8,140	18,071	7,582
計	20,039	8,992	18,820	8,456

### I. 学内奨学金等支給実績総括表

【人数単位:人】

#### 【学部学生】

【金額単位:千円】

学部学生	学内奨学金制度	給費						貸与					
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A経済支援	19,954 (2,218)	6,283,657 (827,770)	315	18,308 (1,794)	5,766,711 (666,885)	315	2,432	1,448,038	595	3,042	1,833,036	603
	B+B'家計急変・災害援助 ※1	3,054 (848)	1,090,183 (521,663)	357	3,549 (1,497)	1,672,191 (991,731)	471	32	17,640	551	41	31,149	760
	B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	1,748 (376)	479,966 (266,325)	275	2,594 (1,292)	1,141,093 (895,733)	440	1	100	100	1	1,200	1,200
	C学業成績優秀	14,247 (1,994)	4,453,038 (783,859)	313	13,121 (1,924)	3,939,411 (757,309)	300	37	56,475	1,526	25	16,940	678
	D入試成績優秀者	5,426 (3,970)	2,940,632 (2,194,145)	542	5,742 (3,925)	3,159,947 (2,221,765)	550	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術奨章・教育奨励	3,092 (211)	400,720 (87,500)	130	3,035 (65)	282,598 (15,472)	93	54	12,960	240	2	230	115
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	4,457 (2,195)	2,375,392 (1,519,024)	533	5,269 (1,890)	2,524,899 (1,319,424)	479	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	7,410 (1,084)	1,833,719 (564,558)	247	6,893 (1,135)	1,753,983 (557,531)	254	42	27,350	651	26	12,950	498
	Hその他	5,072 (1,291)	834,411 (332,270)	165	5,450 (1,131)	1,204,584 (260,985)	221	714	375,462	526	764	406,820	532
	A~Hの小計		62,712 (13,811)	20,211,752 (6,830,789)	322	61,367 (13,361)	20,304,324 (6,791,102)	331	3,311	1,937,925	585	3,900	2,301,125
I受入留学生		16,744 (13,514)	5,957,793 (4,946,601)	356	16,646 (13,319)	5,661,785 (4,743,187)	340	/	/	/	/	/	/
A~Iの合計		79,456 (27,325)	26,169,545 (11,777,390)	329	78,013 (26,680)	25,966,109 (11,534,289)	333	3,311	1,937,925	585	3,900	2,301,125	590

※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

#### 【大学院学生】

大学院学生	学内奨学金制度	給費						貸与					
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A経済支援	1,547 (239)	545,465 (115,009)	353	1,456 (260)	541,908 (127,607)	372	287	239,468	834	362	301,566	833
	B+B'家計急変・災害援助 ※1	70 (22)	24,708 (8,220)	353	112 (67)	59,042 (42,701)	527	1	420	420	0	0	0
	B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	39 (13)	14,383 (5,807)	369	97 (66)	54,165 (42,568)	558	0	0	0	0	0	0
	C学業成績優秀	5,759 (435)	2,329,161 (263,169)	404	5,137 (423)	2,168,933 (266,762)	422	0	0	0	5	1,755	351
	D入試成績優秀者	2,348 (584)	1,160,399 (284,196)	494	2,217 (542)	1,115,652 (265,472)	503	9	3,420	380	7	2,660	380
	E特定試験・特定研修・学術奨章・教育奨励	598 (0)	108,788 (0)	182	682 (0)	113,675 (0)	167	2	1,425	713	3	675	225
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	10 (0)	2,528 (0)	253	8 (0)	2,700 (0)	338	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	90 (4)	20,724 (1,150)	230	120 (5)	32,644 (1,746)	272	0	0	0	0	0	0
	Hその他	2,097 (821)	615,508 (334,807)	294	2,880 (859)	903,697 (324,478)	314	9	5,040	560	13	7,920	609
	A~Hの小計		12,519 (2,105)	4,807,281 (1,006,551)	384	12,612 (2,156)	4,938,251 (1,028,766)	392	308	249,773	811	390	314,576
I受入留学生		5,931 (4,420)	2,072,974 (1,423,999)	350	6,007 (4,416)	2,259,052 (1,480,718)	376	/	/	/	/	/	/
A~Iの合計		18,450 (6,525)	6,880,255 (2,430,550)	373	18,619 (6,572)	7,197,303 (2,509,484)	387	308	249,773	811	390	314,576	807

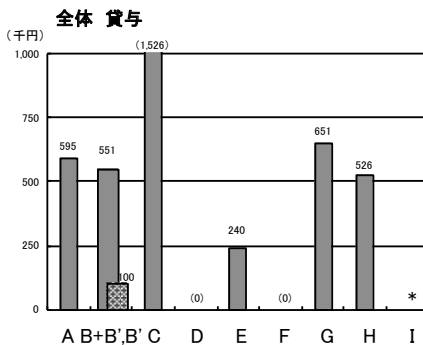
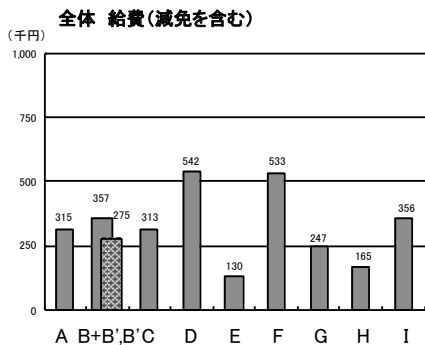
※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
B 家計急変・災害援助	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B' 東日本大震災、福島第一原子力発電所 事故への対応	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
		I 受入留学生

（平成28年度 学部学生1人あたり支給金額）

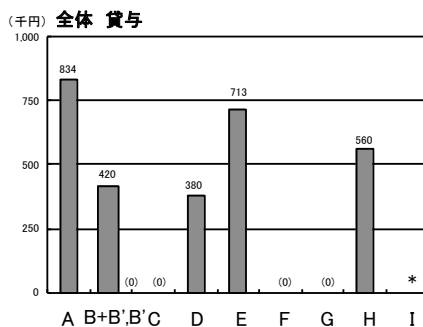
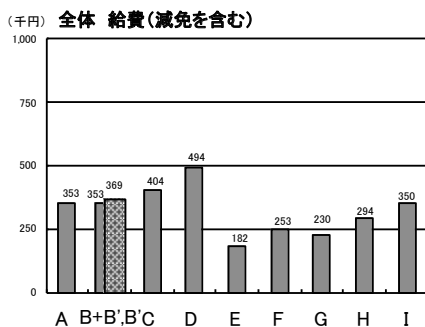
\*印は集計の対象外



○給費型（減免を含む）では、学部学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次にF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が多い。  
○貸与型では、学部学生1人あたり支給金額はC「学業成績優秀」が最も多い。

（平成28年度 大学院学生1人あたり支給金額）

\*印は集計の対象外



○給費型（減免を含む）では、大学院学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次にC「学業成績優秀」、B'「東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」の順に多い。  
○貸与型では、大学院学生1人あたり支給金額はA「経済支援」が最も多く、次にH「その他」が多い。  
※年度による推移は、18頁を参照ください。

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	学部	
		新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期(予約採用)	19,740	18,363
	定期(在学採用)	11,263	12,956
	定期外(緊急採用)	223	209
	第一種計	31,226	31,528
第二種	定期(予約採用)	40,753	38,646
	定期(在学採用)	17,631	19,532
	定期外(緊急採用)	202	136
	第二種計	58,586	58,314
	総件数	89,812	89,842
	(入学時特別増額)	5,523	5,997

制度	採用の種類	大学院	
		新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期	4,674	4,886
	定期外(緊急採用)	10	12
	第一種計	4,684	4,898
第二種	定期(予約採用)	767	971
	定期外(応急採用)	4	10
	第二種計	771	981
	総件数	5,455	5,879
	(入学時特別増額)	45	55

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	平成28年度		平成27年度	
	学部	大学院	学部	大学院
	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)
総件数	55	4	55	2

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制度	平成28年度		平成27年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	112,814	9,986	107,205	10,677
第二種	204,062	1,504	207,370	1,797
計	316,876	11,490	314,575	12,474

(2) グループ別集計

大学名	グループ1(学生数1万人以上28大学)
-----	---------------------

【学生数】平成28・27年5月1日現在

		平成28年		平成27年	
		学部	大学院	学部	大学院
学生総数		620,754	38,924	605,221	39,510
うち留学生	交換留学生	296	90	266	92
	国費留学生	35	608	21	614
	私費留学生	10,643	5,944	9,845	5,537
計		10,974	6,642	10,132	6,243

I. 学内奨学金等支給実績総括表  
【学部学生】

【人数単位:人】  
【金額単位:千円】

学内奨学金制度		給費						貸与						
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度			
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	
学部学生	奨学型	A経済支援	14,468 (631)	4,676,643 (255,501)	323	13,478 (439)	4,267,333 (143,872)	317	1,360	713,672	525	1,750	917,698	524
	奨学型	B+B'家計急変・災害援助 ※1	2,524 (537)	878,340 (384,064)	348	2,876 (1,052)	1,362,475 (767,231)	474	16	9,358	585	23	14,623	636
		B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	1,622 (270)	420,874 (210,978)	259	2,237 (979)	964,025 (727,540)	431	0	0	0	1	1,200	1,200
	育英型	C学業成績優秀	7,923 (264)	2,643,844 (122,137)	334	6,848 (258)	2,189,028 (118,870)	320	0	0	0	0	0	0
		D入試成績優秀者	1,218 (486)	847,913 (455,596)	696	1,400 (517)	958,994 (475,401)	685	0	0	0	0	0	0
		E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	1,130 (20)	215,459 (5,135)	191	1,063 (15)	192,677 (4,740)	181	0	0	0	0	0	0
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	2,033 (815)	1,104,959 (664,383)	544	3,154 (775)	1,386,254 (632,411)	440	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	5,144 (599)	1,336,631 (400,895)	260	4,613 (581)	1,218,915 (393,758)	264	0	0	0	0	0	0
		Hその他	2,903 (72)	418,998 (62,500)	144	3,376 (18)	800,057 (6,425)	237	195	71,536	367	246	125,940	512
	A~Hの小計		37,343 (3,424)	12,122,787 (2,350,211)	325	36,808 (3,655)	12,375,733 (2,542,708)	336	1,571	794,566	506	2,019	1,058,261	524
I受入留学生		7,567 (5,821)	2,249,466 (1,702,251)	297	7,539 (5,740)	2,076,973 (1,570,117)	275							
A~Iの合計		44,910 (9,245)	14,372,253 (4,052,462)	320	44,347 (9,395)	14,452,706 (4,112,825)	326	1,571	794,566	506	2,019	1,058,261	524	

※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与						
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度			
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	
大学院学生	奨学型	A経済支援	997 (64)	364,931 (17,638)	366	931 (81)	360,500 (24,335)	387	107	52,744	493	158	93,295	590
	奨学型	B+B'家計急変・災害援助 ※1	64 (18)	23,645 (7,381)	369	95 (52)	43,845 (27,704)	462	1	420	420	0	0	0
		B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	35 (10)	13,514 (5,018)	386	80 (51)	38,968 (27,571)	487	0	0	0	0	0	0
	育英型	C学業成績優秀	5,028 (340)	2,112,143 (245,400)	420	4,311 (331)	1,915,068 (226,035)	444	0	0	0	5	1,755	351
		D入試成績優秀者	2,211 (525)	1,103,538 (268,564)	499	2,119 (525)	1,064,207 (260,379)	502	9	3,420	380	7	2,660	380
		E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	531 (0)	94,176 (0)	177	591 (0)	95,086 (0)	161	1	225	225	3	675	225
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	3 (0)	800 (0)	267	1 (0)	300 (0)	300	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	70 (3)	18,198 (908)	260	114 (5)	31,544 (1,746)	277	0	0	0	0	0	0
		Hその他	1,697 (583)	548,232 (301,834)	323	2,330 (540)	721,752 (187,801)	310	0	0	0	0	0	0
	A~Hの小計		10,601 (1,533)	4,265,663 (841,725)	402	10,492 (1,534)	4,232,302 (728,000)	403	118	56,809	481	173	98,385	569
I受入留学生		4,321 (3,207)	1,550,327 (1,070,830)	359	4,367 (3,198)	1,768,349 (1,138,620)	405							
A~Iの合計		14,922 (4,740)	5,815,990 (1,912,555)	390	14,859 (4,732)	6,000,651 (1,866,620)	404	118	56,809	481	173	98,385	569	

※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。



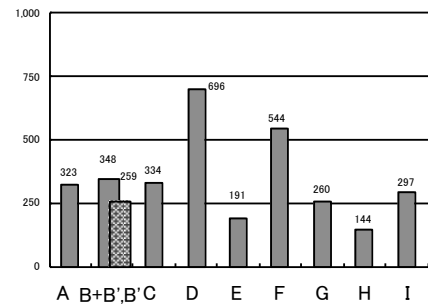
■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
B 家計急変・災害援助	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B' 東日本大震災、福島第一原子力発電所 事故への対応	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
		I 受入留学生

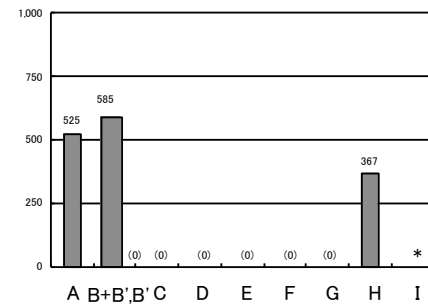
（平成28年度 学部学生1人あたり支給金額）

\*印は集計の対象外

（千円） グループ1 給費(減免を含む)



（千円） グループ1 貸与



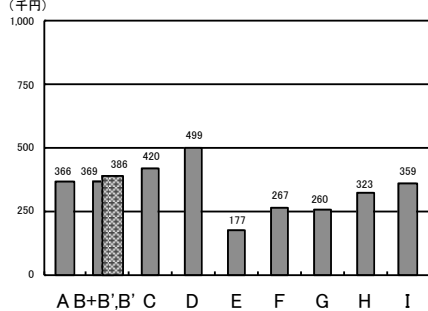
○給費型（減免を含む）では、学部学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。

○貸与型では、昨年まではあったB'「東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」の支給実績が無くなった。

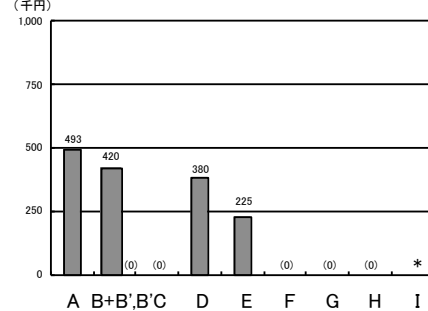
（平成28年度 大学院学生1人あたり支給金額）

\*印は集計の対象外

（千円） グループ1 給費(減免を含む)



（千円） グループ1 貸与



○給費型（減免を含む）では、大学院学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次いでC「学業成績優秀」が多い。

○貸与型では、大学院学生1人あたり支給金額はA「経済支援」が最も多い。

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期(予約採用)	11,626	10,791
	定期(在学採用)	7,266	8,291
	定期外(緊急採用)	169	145
	第一種計	19,061	19,227
第二種	定期(予約採用)	22,890	21,800
	定期(在学採用)	10,870	12,077
	定期外(応急採用)	95	96
	第二種計	33,855	33,973
	総件数	52,916	53,200
	(入学時特別増額)	2,665	3,199

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期	4,058	4,283
	定期外(緊急採用)	10	9
	第一種計	4,068	4,292
第二種	定期(予約採用)	640	803
	定期外(応急採用)	2	8
	第二種計	642	811
	総件数	4,710	5,103
	(入学時特別増額)	34	44

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	平成28年度		平成27年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	33	4	41	2

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制度	平成28年度		平成27年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	70,734	8,445	67,311	9,273
第二種	122,089	1,223	122,851	1,481
計	192,823	9,668	190,162	10,754

大学名	グループ2(学生数4千人～1万人未満38大学)
-----	-------------------------

【学生数】平成28・27年5月1日現在

	平成28年		平成27年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	248,650	6,873	241,827	6,910
うち 留 学 生	770	27	262	27
交換留学生	24	72	20	87
国費留学生	6,038	1,634	6,107	1,517
私費留学生	計	6,832	1,733	6,389
				1,631

I. 学内奨学金等支給実績総括表

【人数単位:人】

【学部学生】

【金額単位:千円】

学部学生	学内奨学金制度	給費						貸与					
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨 学 型	A経済支援	3,895 (947)	1,103,906 (368,033)	283	3,389 (798)	1,039,505 (338,544)	307	230	136,579	594	374	223,985	599
	B+B'家計急変・災害援助 ※1	332 (172)	122,194 (72,535)	368	466 (297)	208,849 (155,911)	448	4	1,859	465	8	6,911	864
	B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	53 (44)	27,573 (26,028)	520	274 (238)	132,762 (126,983)	485	0	0	0	0	0	0
育 英 型	C学業成績優秀	4,234 (936)	1,052,246 (375,974)	249	4,159 (847)	1,010,279 (347,386)	243	0	0	0	25	16,940	678
	D入試成績優秀者	2,807 (2,532)	1,396,195 (1,267,076)	497	2,776 (2,450)	1,369,914 (1,206,636)	493	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	1,364 (134)	90,515 (14,815)	66	1,222 (50)	71,521 (10,732)	59	50	4,960	99	2	230	115
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	1,403 (758)	753,584 (503,213)	537	1,324 (674)	695,523 (460,465)	525	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	1,659 (222)	334,634 (79,214)	202	1,612 (264)	366,550 (86,833)	227	29	23,900	824	11	8,600	782
	Hその他	962 (522)	162,991 (118,641)	169	975 (517)	169,666 (105,346)	174	19	5,700	300	45	13,500	300
A～Hの小計		16,656 (6,223)	5,016,265 (2,799,501)	301	15,923 (5,897)	4,931,807 (2,711,853)	310	332	172,998	521	465	270,166	581
I受入留学生		7,052 (6,059)	3,004,781 (2,715,650)	426	6,913 (5,780)	2,849,770 (2,583,254)	412						
A～Iの合計		23,708 (12,282)	8,021,046 (5,515,151)	338	22,836 (11,677)	7,781,577 (5,295,107)	341	332	172,998	521	465	270,166	581

※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

大学院学生	学内奨学金制度	給費						貸与					
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨 学 型	A経済支援	314 (24)	88,474 (16,982)	282	266 (12)	73,144 (12,000)	275	136	153,578	1,129	156	169,947	1,089
	B+B'家計急変・災害援助 ※1	5 (3)	673 (449)	135	15 (13)	14,720 (14,520)	981	0	0	0	0	0	0
	B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	3 (2)	479 (399)	160	15 (13)	14,720 (14,520)	981	0	0	0	0	0	0
育 英 型	C学業成績優秀	579 (86)	165,627 (14,889)	286	670 (78)	200,394 (36,267)	299	0	0	0	0	0	0
	D入試成績優秀者	132 (59)	55,441 (15,632)	420	87 (17)	47,905 (5,093)	551	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	43 (0)	8,627 (0)	201	57 (0)	11,627 (0)	204	0	0	0	0	0	0
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	2 (0)	100 (0)	50	2 (0)	100 (0)	50	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	12 (0)	1,184 (0)	99	3 (0)	700 (0)	233	0	0	0	0	0	0
	Hその他	224 (67)	46,310 (15,075)	207	373 (153)	159,467 (118,075)	428	9	5,040	560	13	7,920	609
A～Hの小計		1,311 (239)	366,436 (63,027)	280	1,473 (273)	508,057 (185,955)	345	145	158,618	1,094	169	177,867	1,052
I受入留学生		1,451 (1,151)	453,546 (339,776)	313	1,467 (1,147)	415,421 (324,814)	283						
A～Iの合計		2,762 (1,390)	819,982 (402,803)	297	2,940 (1,420)	923,478 (610,769)	314	145	158,618	1,094	169	177,867	1,052

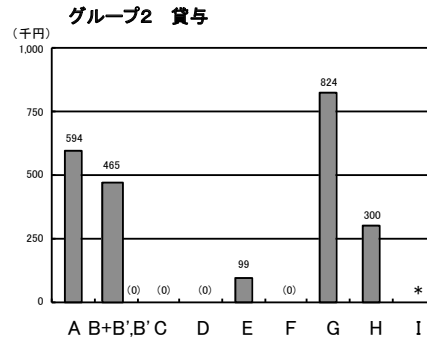
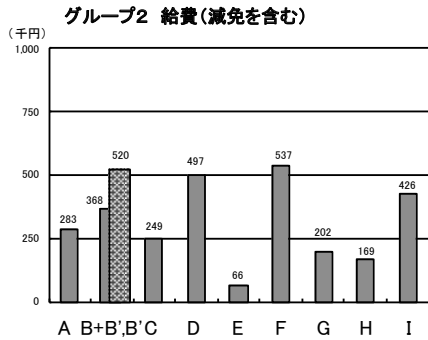
※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
B 家計急変・災害援助	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B' 東日本大震災、福島第一原子力発電所 事故への対応	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
		I 受入留学生

（平成28年度 学部学生1人あたり支給金額）

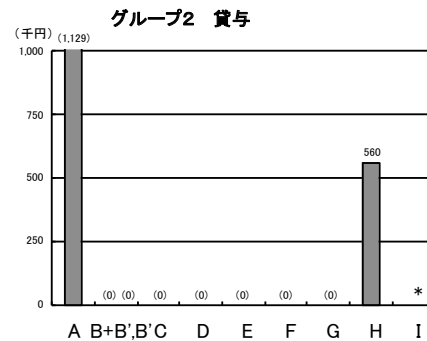
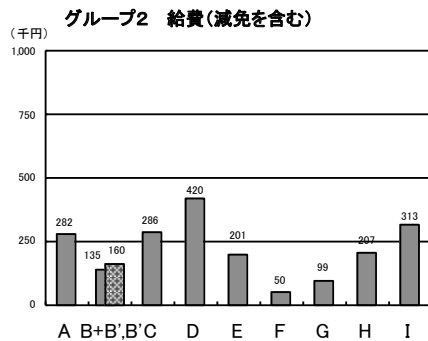
\*印は集計の対象外



○給費型（減免を含む）では、学部学生1人あたり支給金額はF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が最も多く、次にB'「東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」が多い。  
○貸与型では、学部1人あたり支給金額はG「派遣留学生」が最も多く、次にA「経済支援」が多い。

（平成28年度 大学院学生1人あたり支給金額）

\*印は集計の対象外



○給費型（減免を含む）では、大学院学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次にI「受入留学生」が多い。  
○貸与型では、大学院学生1人あたり支給金額はA「経済支援」とH「その他」のみ支給実績がある。

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期(予約採用)	5,924	5,402
	定期(在学採用)	2,918	3,439
	定期外(緊急採用)	36	48
	第一種計	8,878	8,889
第二種	定期(予約採用)	12,870	11,852
	定期(在学採用)	4,852	5,265
	定期外(緊急採用)	19	29
	第二種計	17,741	17,146
	総件数	26,619	26,035
	(入学時特別増額)	2,085	1,832

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期	474	466
	定期外(緊急採用)	0	2
	第一種計	474	468
第二種	定期(予約採用)	95	106
	定期外(緊急採用)	0	2
	第二種計	95	108
	総件数	569	576
	(入学時特別増額)	6	10

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	平成28年度		平成27年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	13	0	10	0

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制度	平成28年度		平成27年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	30,396	1,017	28,402	1,076
第二種	57,994	205	59,259	243
計	88,390	1,222	87,661	1,319

大学名	グループ3(学生数4千人未満57大学)
-----	---------------------

【学生数】平成28・27年5月1日現在

	平成28年		平成27年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	99,168	3,769	103,140	3,764
うち留学生	261	7	179	8
国費留学生	0	48	1	46
私費留学生	1,972	562	2,119	528
計	2,233	617	2,299	582

I. 学内奨学金等支給実績総括表

【人数単位:人】

【学部学生】

【金額単位:千円】

学部学生	学内奨学金制度	給費						貸与					
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A経済支援	1,591 (640)	503,108 (204,236)	316	1,441 (557)	459,873 (184,469)	319	842	597,787	710	918	691,353	753
	B+B'家計急変・災害援助 ※1	198 (139)	89,649 (65,064)	453	207 (148)	100,867 (68,589)	487	12	6,423	535	10	9,615	962
	B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	73 (62)	31,519 (29,319)	432	83 (75)	44,306 (41,210)	534	1	100	100	0	0	0
育英型	C学業成績優秀	2,090 (794)	756,948 (285,748)	362	2,114 (819)	740,104 (291,053)	350	37	56,475	1,526	0	0	0
	D入試成績優秀者	1,401 (952)	696,524 (471,473)	497	1,566 (958)	831,039 (539,728)	531	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	598 (57)	94,746 (67,550)	158	750 (0)	18,400 (0)	25	4	8,000	2,000	0	0	0
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	1,021 (622)	516,849 (351,428)	506	791 (441)	443,122 (226,548)	560	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	607 (263)	162,454 (84,449)	268	668 (290)	168,518 (76,940)	252	13	3,450	265	15	4,350	290
	Hその他	1,207 (697)	252,422 (151,129)	209	1,099 (596)	234,861 (149,214)	214	500	298,226	596	473	267,380	565
	A~Hの小計	8,713 (4,164)	3,072,700 (1,681,077)	353	8,636 (3,809)	2,996,784 (1,536,541)	347	1,408	970,361	689	1,416	972,698	687
I受入留学生	2,125 (1,634)	703,546 (528,700)	331	2,194 (1,799)	735,042 (589,816)	335							
A~Iの合計	10,838 (5,798)	3,776,246 (2,209,777)	348	10,830 (5,608)	3,731,826 (2,126,357)	345	1,408	970,361	689	1,416	972,698	687	

※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

大学院学生	学内奨学金制度	給費						貸与					
		平成28年度( )内は減免額			平成27年度( )内は減免額			平成28年度			平成27年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A経済支援	236 (151)	92,060 (80,389)	390	259 (167)	108,264 (91,272)	418	44	33,146	753	48	38,324	798
	B+B'家計急変・災害援助 ※1	1 (1)	390 (390)	390	2 (2)	477 (477)	239	0	0	0	0	0	0
	B'うち東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故への対応	1 (1)	390 (390)	390	2 (2)	477 (477)	239	0	0	0	0	0	0
育英型	C学業成績優秀	152 (9)	51,390 (2,880)	338	156 (14)	53,471 (4,460)	343	0	0	0	0	0	0
	D入試成績優秀者	5 (0)	1,420 (0)	284	11 (0)	3,540 (0)	322	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	24 (0)	5,985 (0)	249	34 (0)	6,962 (0)	205	1	1,200	1,200	0	0	0
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	5 (0)	1,628 (0)	326	5 (0)	2,300 (0)	460	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	8 (1)	1,342 (242)	168	3 (0)	400 (0)	133	0	0	0	0	0	0
	Hその他	176 (171)	20,966 (17,898)	119	177 (166)	22,478 (18,602)	127	0	0	0	0	0	0
	A~Hの小計	607 (333)	175,181 (101,799)	289	647 (349)	197,892 (114,811)	306	45	34,346	763	48	38,324	798
I受入留学生	159 (62)	69,101 (13,393)	435	173 (71)	75,282 (17,284)	435							
A~Iの合計	766 (395)	244,282 (115,192)	319	820 (420)	273,174 (132,095)	333	45	34,346	763	48	38,324	798	

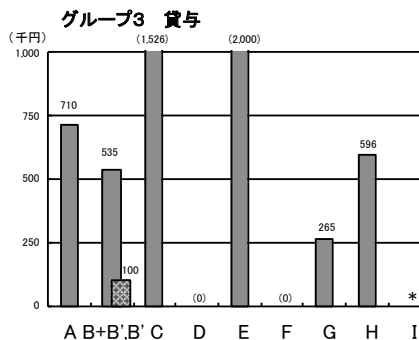
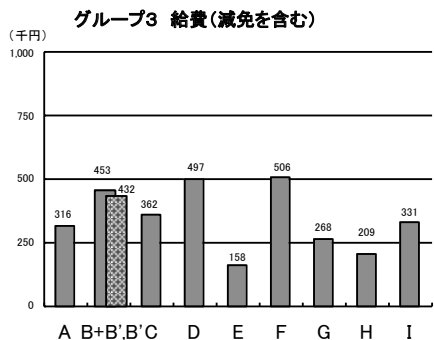
※1・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
B 家計急変・災害援助	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B' 東日本大震災、福島第一原子力発電所 事故への対応	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
		I 受入留学生

（平成28年度 学部学生1人あたり支給金額）

\*印は集計の対象外

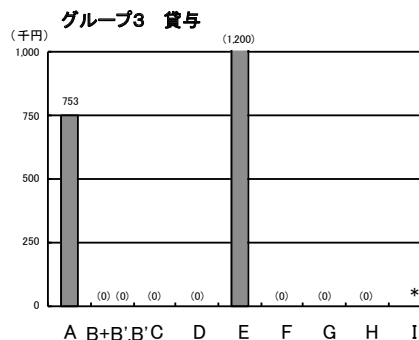
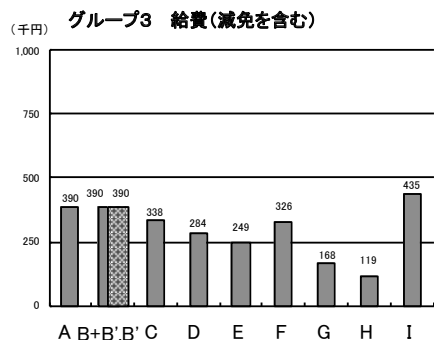


- 給費型（減免を含む）では、学部学生1人あたり支給金額はF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が最も多く、次にD「入試成績優秀者」が多い。
- 貸与型では、学部1人あたり支給金額はC「学業成績優秀」、E「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」が多い。

→貸与型のC「学業成績優秀」やE「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」はグループ1・2ではほとんど見られず、グループ3の特徴と言える。

（平成28年度 大学院学生1人あたり支給金額）

\*印は集計の対象外



- 給費型（減免を含む）では、大学院学生1人あたり支給金額はI「受入留学生」が最も多く、次いでB「家計急変・災害援助」とB+B'「東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応」が多い。
- 貸与型では、E「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」が1件のみであり、1人あたりの支給金額も120万円と多い。

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	学部	
		新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期(予約採用)	2,190	2,170
	定期(在学採用)	1,079	1,226
	定期外(緊急採用)	18	16
	第一種計	3,287	3,412
第二種	定期(予約採用)	4,993	4,994
	定期(在学採用)	1,909	2,190
	定期外(緊急採用)	88	11
	第二種計	6,990	7,195
	総件数	10,277	10,607
	(入学時特別増額)	773	966

制度	採用の種類	大学院	
		新規採用件数	
		平成28年度	平成27年度
第一種	定期	142	137
	定期外(緊急採用)	0	1
	第一種計	142	138
第二種	定期(予約採用)	32	62
	定期外(応急採用)	2	0
	第二種計	34	62
	総件数	176	200
	(入学時特別増額)	5	1

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	平成28年度		平成27年度	
	学部	大学院	学部	大学院
	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)
総件数	9	0	4	0

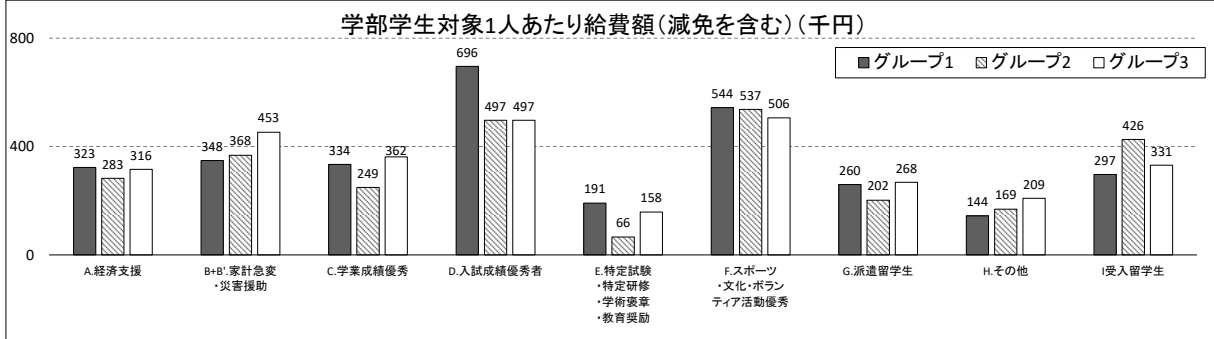
③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制度	平成28年度		平成27年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	11,684	524	11,492	328
第二種	23,979	76	25,260	73
計	35,663	600	36,752	401

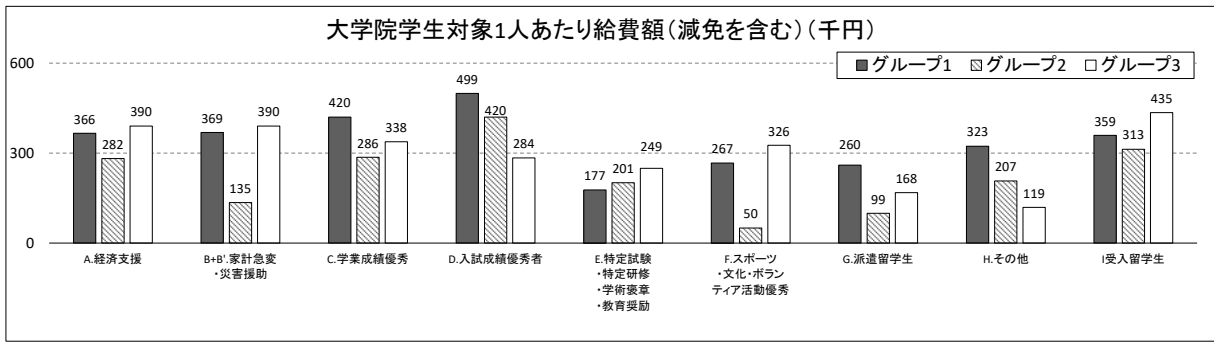
(3) 学生1人あたり支給額のグループ別比較グラフ (平成28年度学内奨学金等制度)

【給費 (減免を含む)】グループ比較

学部



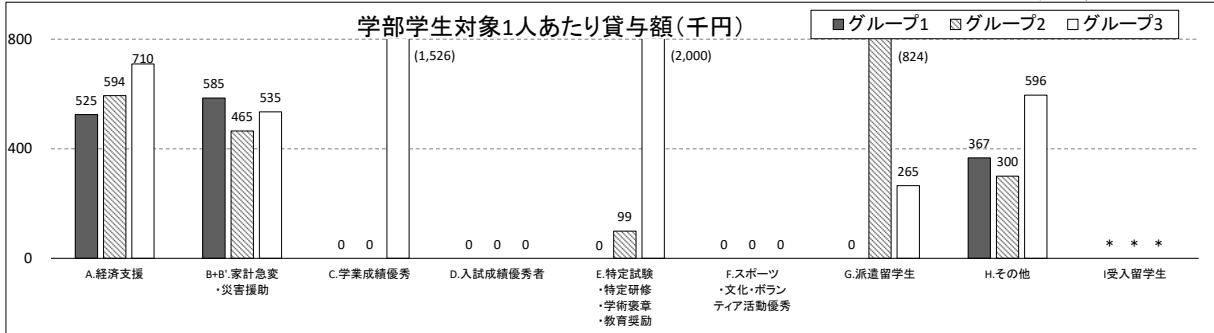
大学院



【貸与】グループ比較

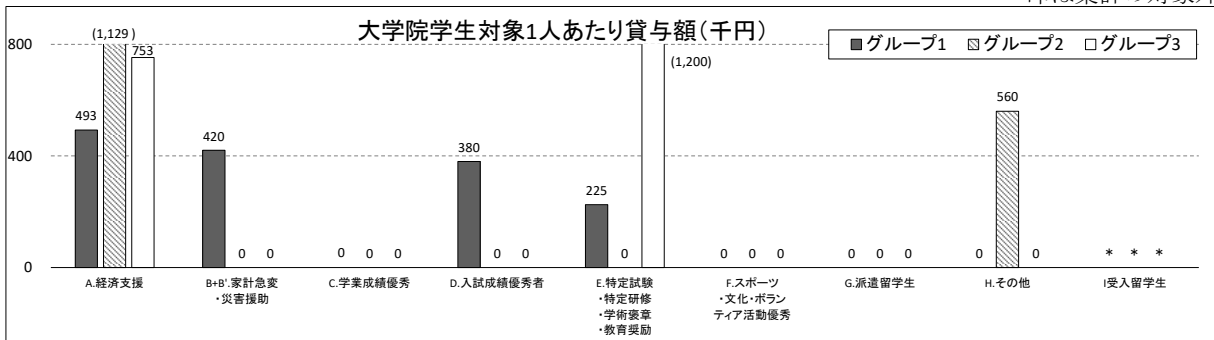
学部

\*印は集計の対象外



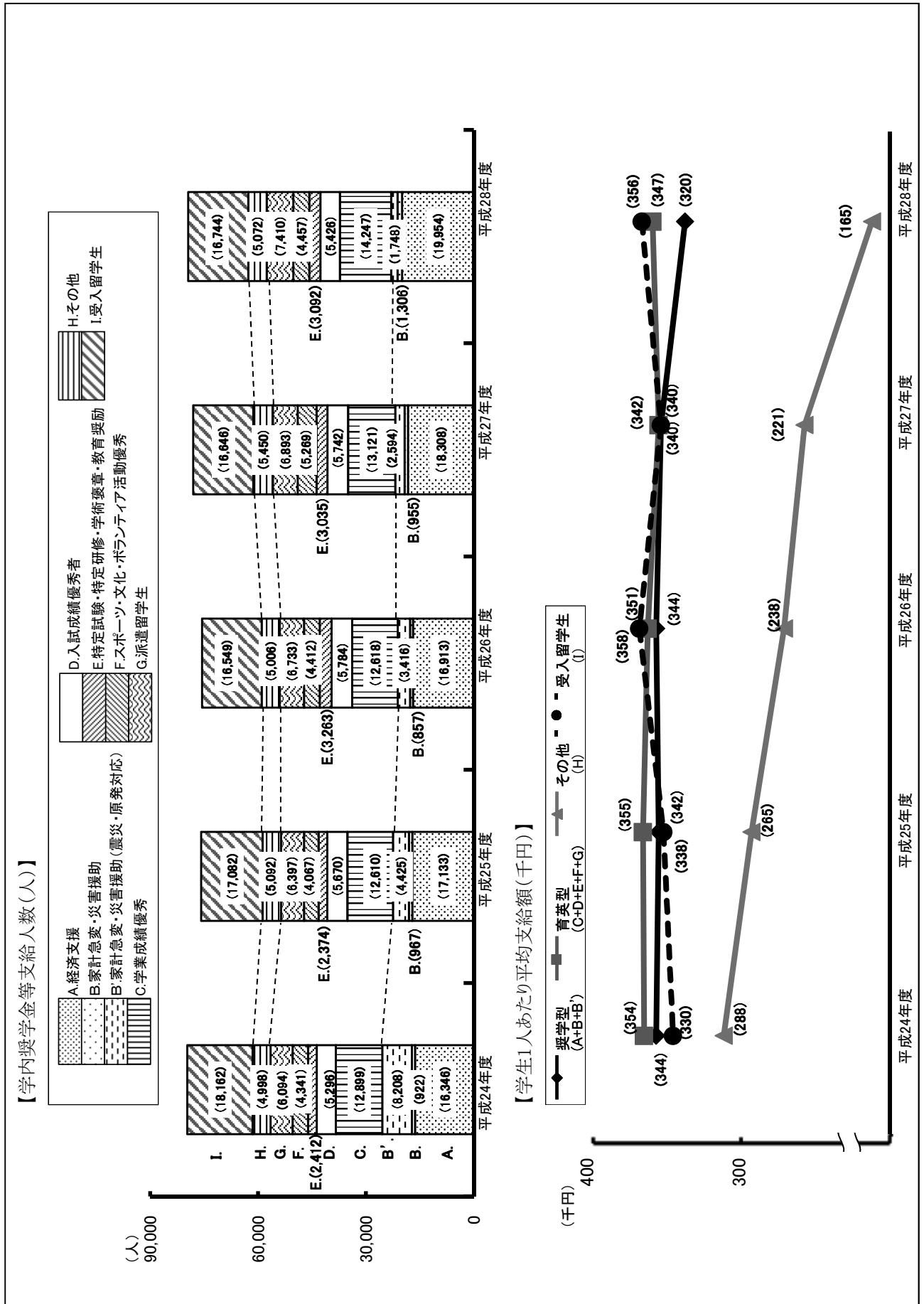
大学院

\*印は集計の対象外



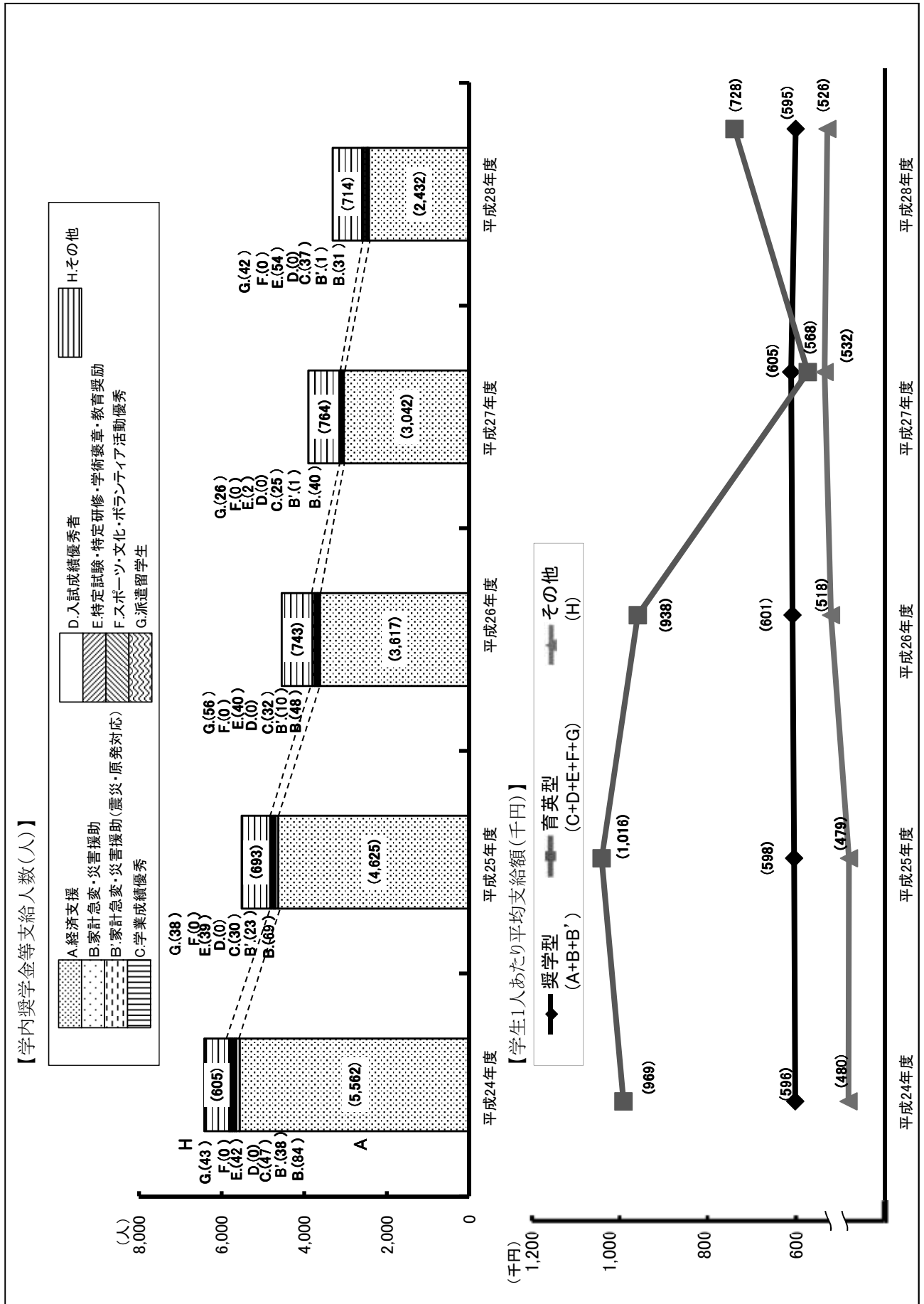


(5) ①全体123大学【学部学生：給費】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（平成28年度学内奨学金等制度）

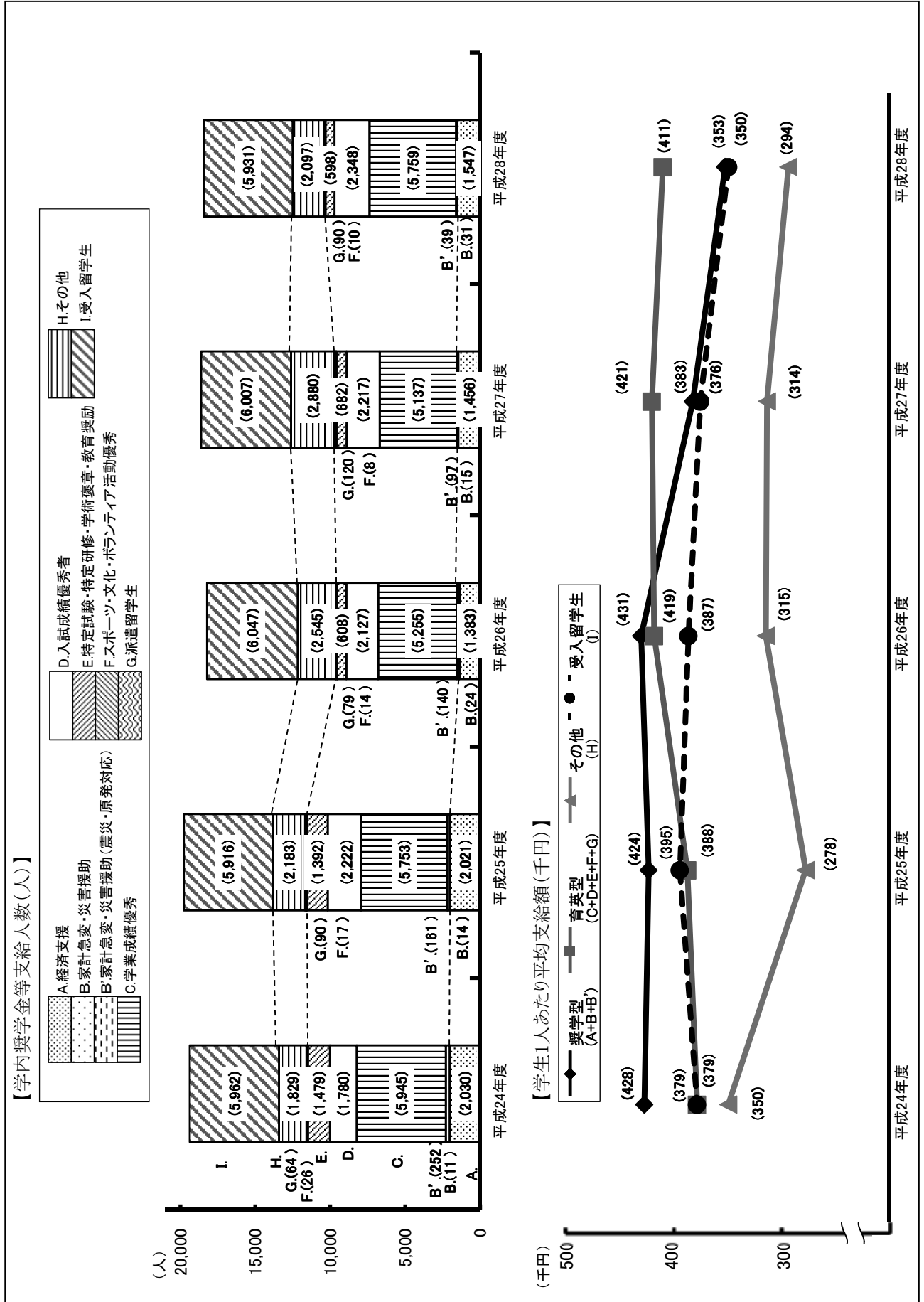




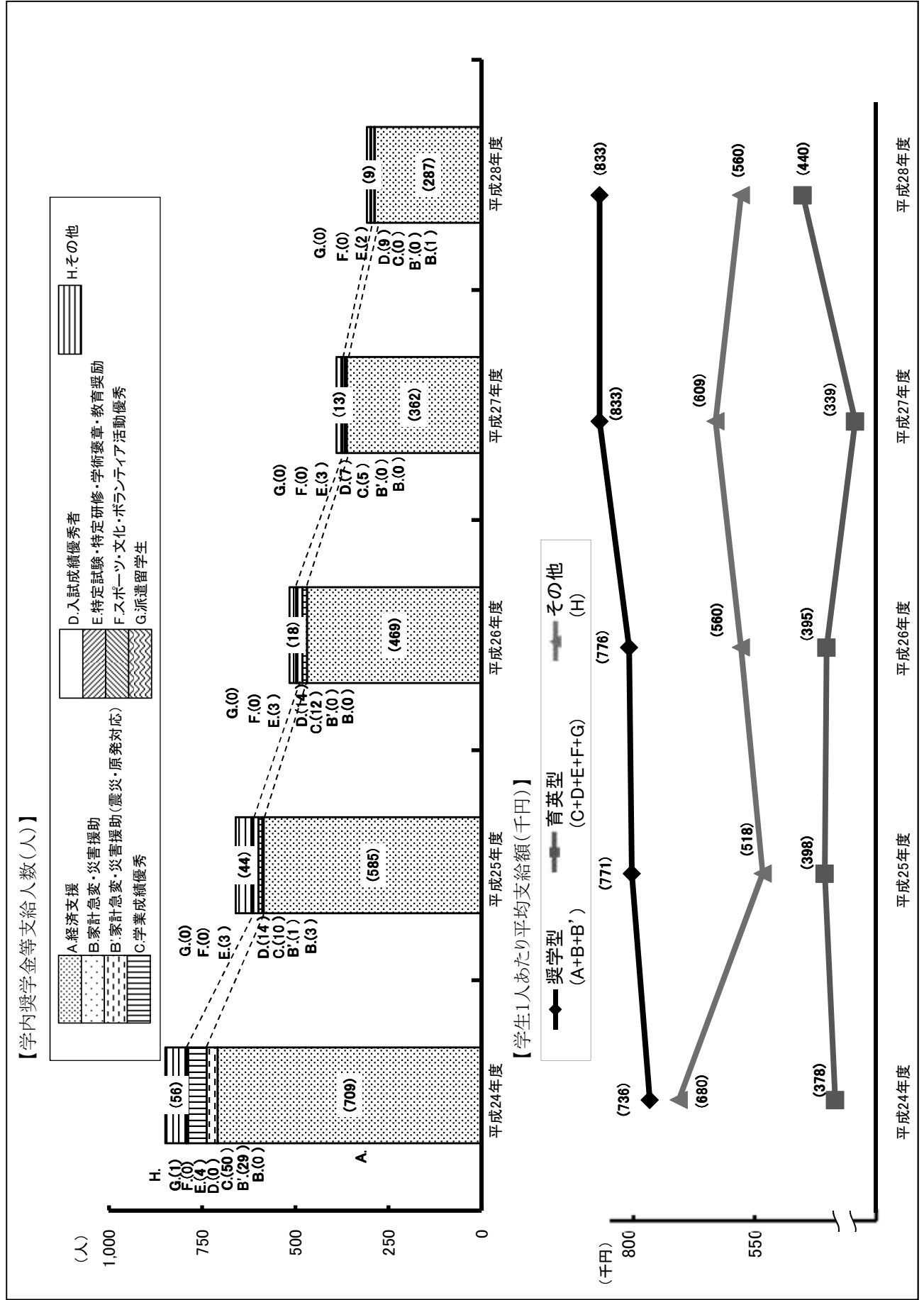
②全体123大学【学部学生：貸与】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（平成28年度学内奨学金等制度）



③全体123大学【大学院学生：給費】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（平成28年度学内奨学金等制度）



④全体123大学【大学院学生：貸与】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（平成28年度学内奨学金等制度）



## 5. テーマ設問

「奨学金業務の外部委託について」集計結果

### 【はじめに】

#### 1. 回答回収状況について

- ・回答依頼大学数：123 大学
- ・回答大学数：121 大学 136 件 ※キャンパス別に回答の大学があったため
- ・回収率：98.4%

#### 2. 規模グループについて

集計にあたっては、毎年実施している実績調査で使用している規模グループを使用した。

グループ	各グループの学部学生数による区分	今回回答件数
第1グループ	学部学生数1万人以上	27件(27大学)
第2グループ	学部学生数4千人以上 1万人未満	46件(39大学)
第3グループ	学部学生数4千人未満	63件(56大学)

なお、キャンパス別に回答のあった大学（第1グループ1校）については、当該キャンパス所在の学部学生数をもとに、2・3グループに振り分けて集計した。

#### 3. 委託に関する区分について

集計にあたっては、委託に関する区分をQ2の回答を基に分類した。

分類	委託に関する区分
委託あり	Q2の選択肢「1. 行っている」、「2. 行っており、今後対象を広げることを決定している」、「3. 行っており、今後対象を広げることを検討している・検討したい」を選択
委託検討	Q2の選択肢「4. 現在は行っていないが、今後行うことを決定している」、「5. 現在は行っていないが、今後行うことを検討している・検討していない」を選択
委託なし	Q2の選択肢「6. 行っていない（今後も行う予定はない）」を選択

近年、日本学生支援機構（JASSO）奨学金制度は複雑となり、JASSO 奨学金業務の外部委託化に踏み切る大学も出てきている。現時点では外部委託をしていなくても、JASSO 奨学金業務を課題としてとらえ、対応方法の検討を行っている大学は少なくないと思われる。

そこで、各大学における JASSO 奨学金業務を含む奨学金業務体制の実態を把握し、今後の検討の参考にしてもらうためにアンケートを実施した。

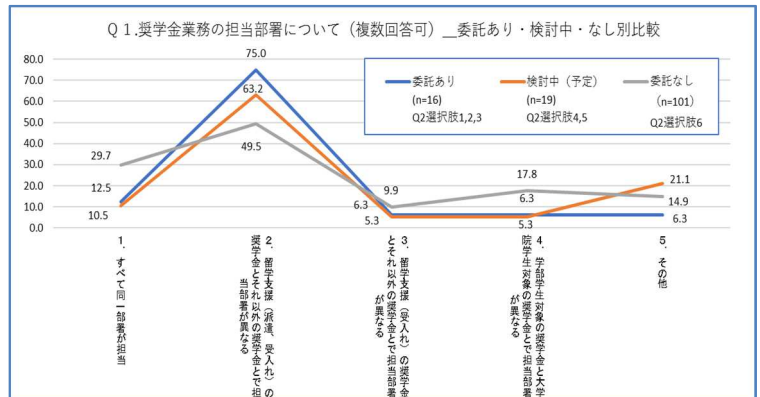
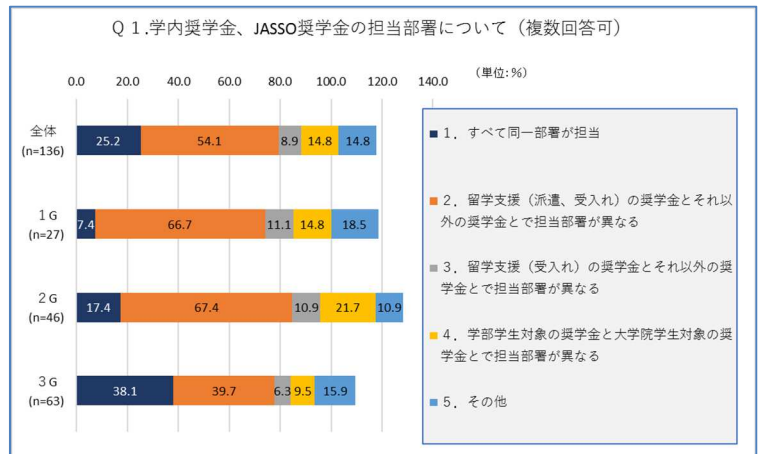
## (1) 業務委託について

### 【担当部署】

Q1 学内奨学金（「学内奨学金等分類表」A～I）および日本学生支援機構奨学金業務の担当部署についてお尋ねします。【複数選択可】

全体では、「留学支援（派遣、受入れ）の奨学金とそれ以外の奨学金とで担当部署が異なる」が 54.1%と過半数を占めるが、大学の規模別にみた場合、規模が小さくなるほど「すべて同一部署が担当する」の割合が高くなっている。

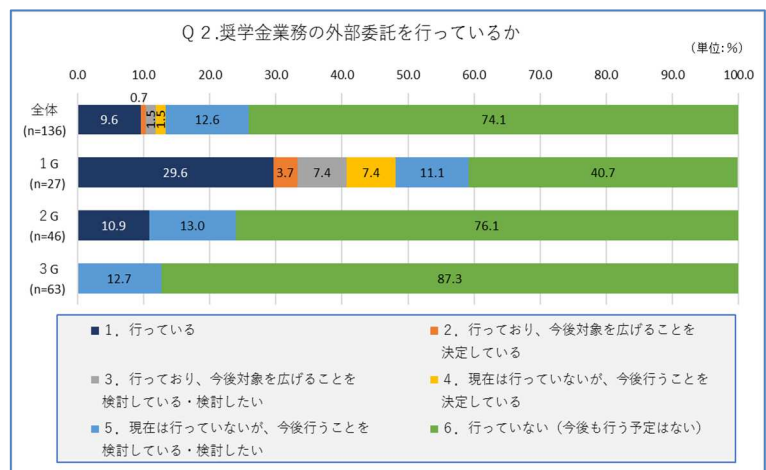
学部生と大学院生により担当部署が異なる大学は、全体で 14.8%であった。また、外部委託業務別でみると、「委託あり」の大学では、「留学支援（派遣、受入れ）の奨学金とそれ以外の奨学金とで担当部署が異なる」の割合が高く、75%となっている。



### 【外部委託の有無】

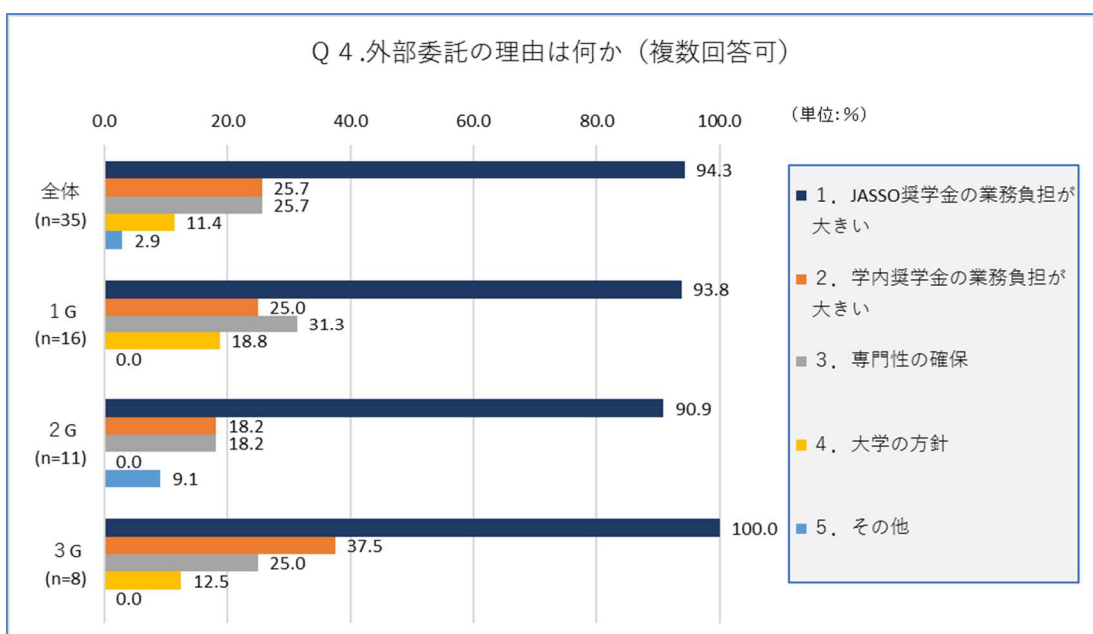
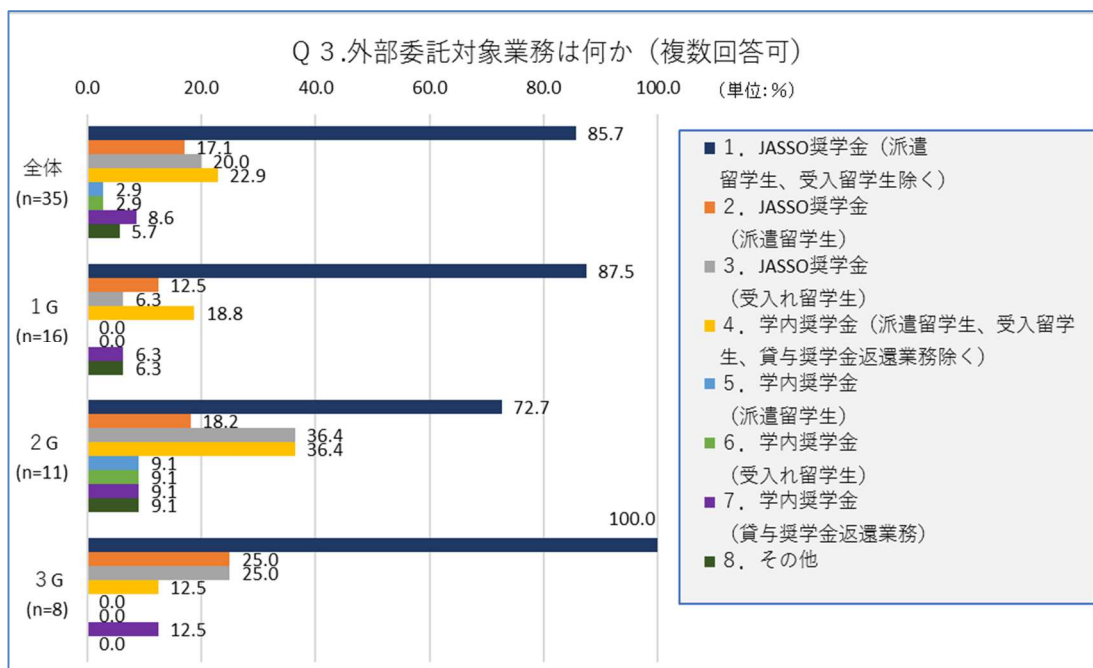
Q2 奨学金業務の外部委託を行っていますか？【1つ選択】

全体では、「外部委託を行っていない（今後行う予定はない）」が 74.1%であるが、第 1 グループの大学（学部学生数 1 万人以上）では、「現在は行っていないが、今後行うことを決定している」を含めると 48.1%が外部委託を行っている。「現在は行っていないが、今後行うことを検討している・検討したい」も 11.1%あり、規模が大きい大学では過半数が奨学金業務の外部委託化を進めている。



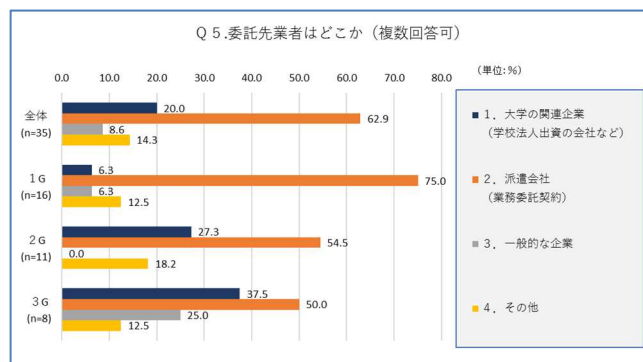
### Q3 その外部委託の対象業務は何ですか？／Q4 外部委託の理由は何ですか？

外部委託対象業務は圧倒的に JASSO 奨学金業務であり、その理由は「JASSO 奨学金の業務負担が大きい」ためである。多くの大学で、JASSO 奨学金業務について負担が大きいと感じているという実態が確認された。今後も平成 30 年度に本格実施となる「給付型奨学金制度」は、進学者 2 万人に給付されることとなる。継続審査手続き等は大学にゆだねられることとなるため、業務負担は増加することとなる。返還方法等についても多様化し、JASSO 奨学金業務は質量ともに年々複雑化しており、各大学でも負担感を現状人員で吸収できない状況がますます拡大すると考えられる。



Q5 委託先業者はどこですか？ 業務委託を検討中等で確定していない場合は、現時点でのお考えをお答えください。【複数選択可】

委託先業者先については、「派遣会社(業務委託契約)」が、全体で62.9%、第1グループでは75.0%と高い数値であった。「大学の関連企業(学校法人出資の会社など)」が全体で2割程度であった。

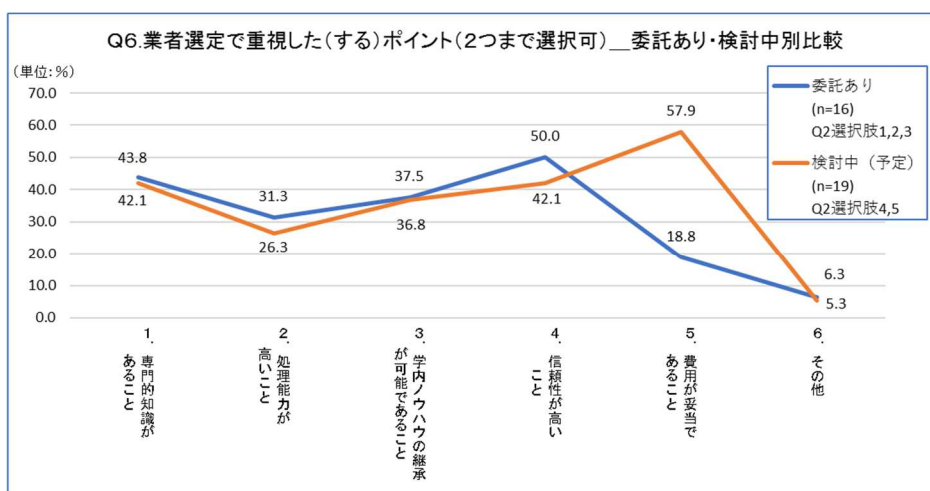
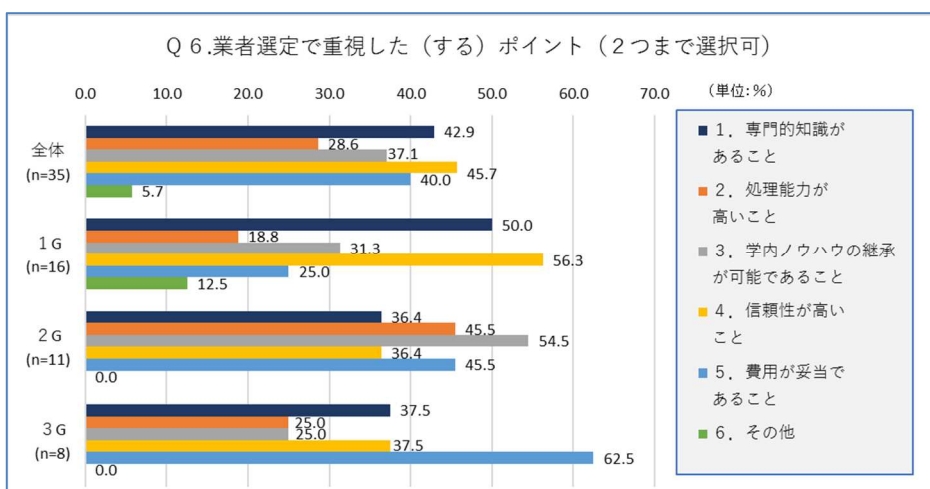


Q6 委託先業者選定にあたり重視したポイントは何ですか？ 業務委託を検討中等の場合は、現時点でのお考えをお答えください。【2つまで選択】

委託先業者選定で重視するポイントは「信頼性が高いこと」、「専門的知識があること」であり、「費用が妥当であること」や「学内ノウハウの継承が可能であること」も重視されている。

回答方法は2つまで選択可となっているが、委託化には、重複する点が多いことが推察される。これは、現在外部委託を「行っている」大学と「現在は行っていないが、今後行うことを決定している・検討している・検討したい」大学とではほぼ同じ傾向であるが、「費用が妥当であること」に関しては、前者が18.8%なのに対し後者は57.9%と差がみられた。外部委託を検討中の大学では、費用が課題になっているという状況が推測できる。

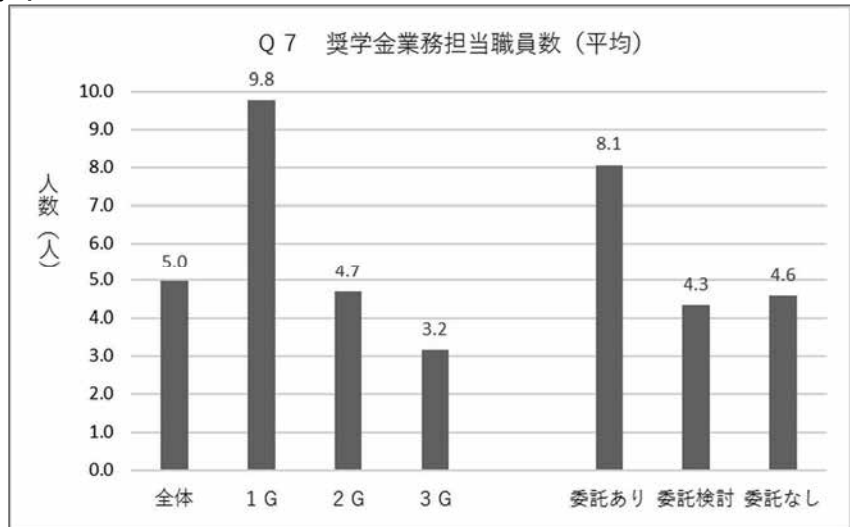
＜奨学金等分科会委員・分析＞



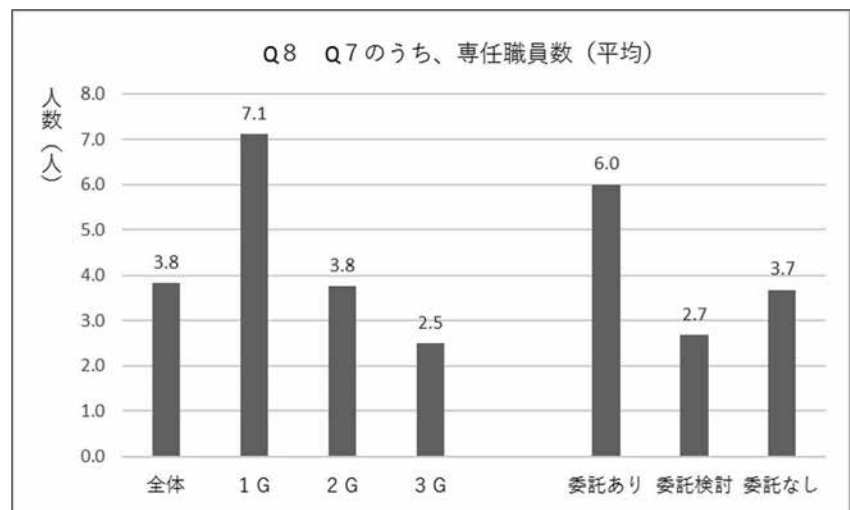
## (2) 担当職員数

【担当職員数(留学支援の奨学金以外)】

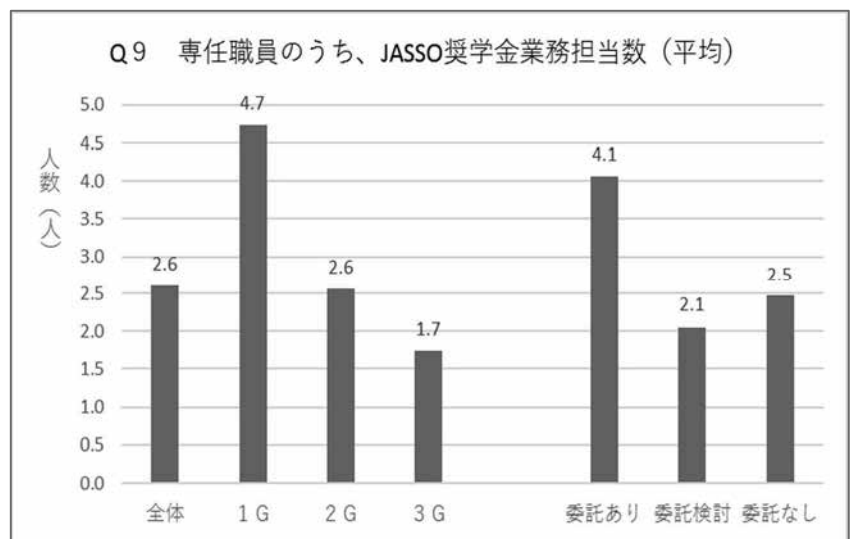
Q7 留学支援以外の奨学金業務担当職員(専任・非専任、常勤・非常勤を問わない。ただし、臨時のアルバイト等は除く)は何人ですか？



Q8 Q7の職員のうち、専任職員(常勤)は何人ですか？

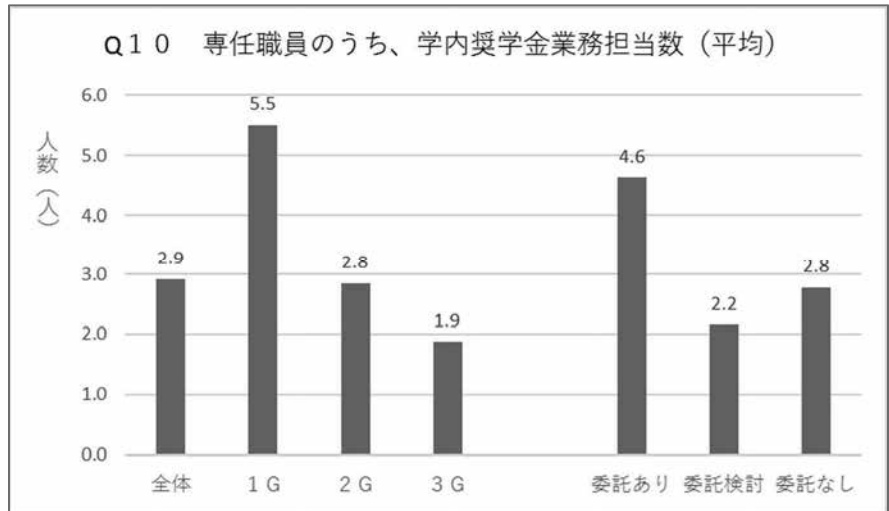


Q9 Q8の専任職員(常勤)のうち、JASSO奨学金業務担当は何人ですか？



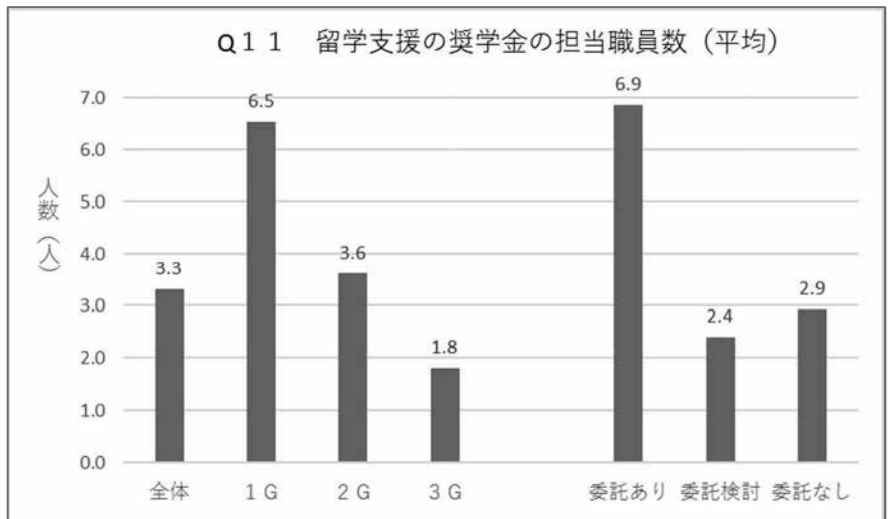


Q10 Q8の専任職員（常勤）のうち、学内奨学金業務担当は何人ですか？

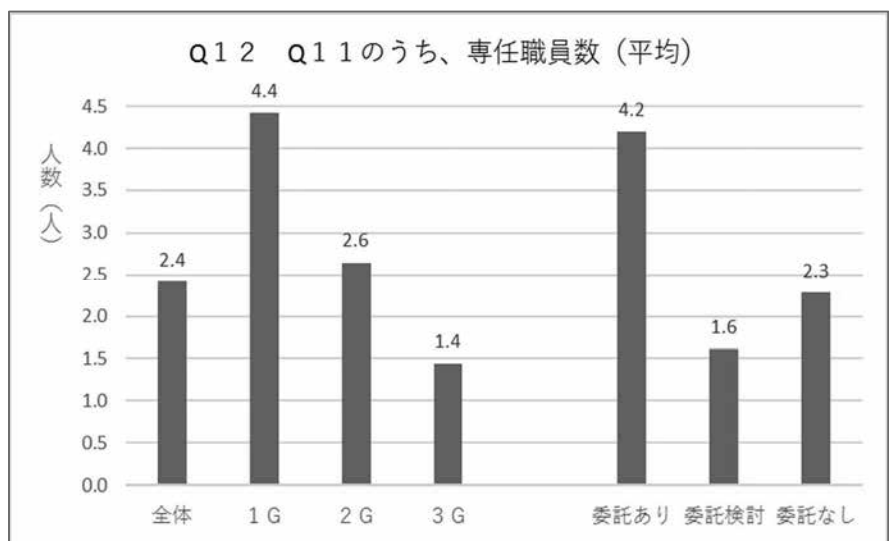


【担当職員数（留学支援の奨学金）】

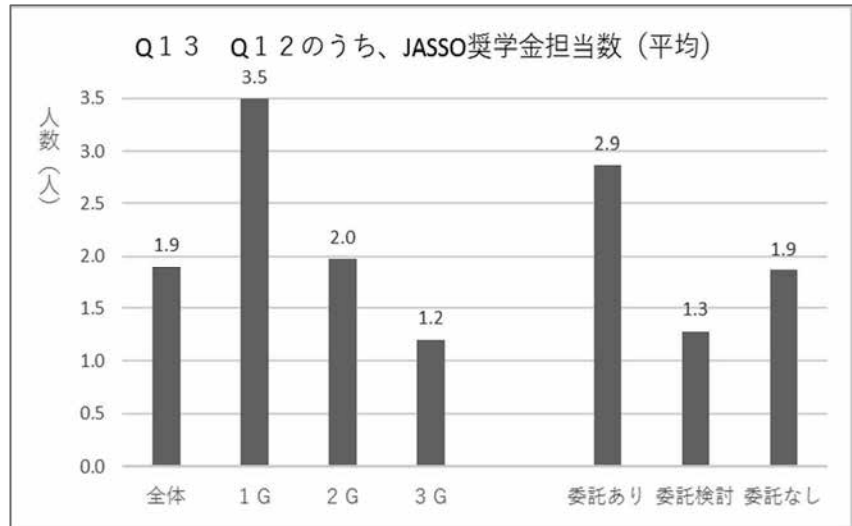
Q11 留学支援の奨学金業務担当職員（専任・非専任、常勤・非常勤を問わない。ただし、臨時のアルバイト等は除く）は何人ですか？



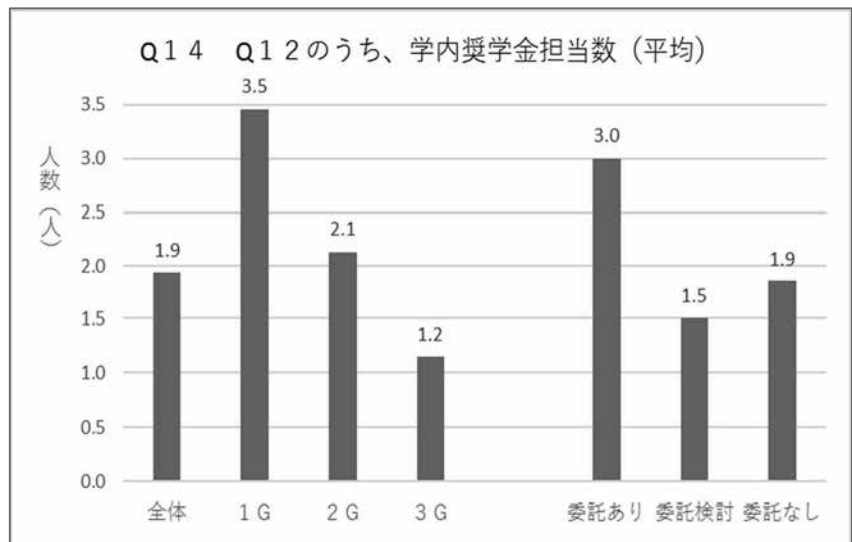
Q12 Q11の職員のうち、専任職員（常勤）は何人ですか？



Q13 Q12の専任職員（常勤）うち、JASSO奨学金担当は何人ですか？



Q14 Q12の専任職員（常勤）のうち、学内奨学金担当は何人ですか？



## 【付 録】

## 平成29年度奨学金等調査（平成28年度実績）実施要項

一般社団法人日本私立大学連盟  
学 生 委 員 会

### I 調査実施の目的

この調査は、加盟大学における奨学金等制度の実態、日本学生支援機構の奨学金受給状況を把握し、加盟各大学の学生経済援助施策の企画・立案に資するとともに、当連盟の各種事業活動に役立てることを目的として実施します。ご協力をよろしく願います。

### II 調査内容

#### データ設問

##### 【学内奨学金等制度に関する調査】

- ・各大学における学内奨学金等制度による奨学金等の平成28年度の支給実績について調査するものです。なお、特待生制度を含む授業料等の減免制度も調査対象となります。

##### 【日本学生支援機構奨学金に関する調査】

- ・各大学における平成28年度日本学生支援機構奨学金新規採用実績及び日本学生支援機構奨学生総件数（新規及び継続合計）について調査するものです。

#### テーマ設問

##### 【奨学金業務体制の状況について】

- ・今回は、各大学における奨学金業務体制の状況について、簡単な設問にご回答いただくこととしました。

### III 実施期間

平成29年8月18日（金）～9月22日（金）

### IV 問い合わせ

##### 【この調査に関する問い合わせ】

一般社団法人日本私立大学連盟 教学支援課（佐藤（諒）、千葉、関口、相坂）

電 話：03-3262-3603（直通） メール：kyogaku@shidaiaren.or.jp

##### 【調査回答用webサイト（ログイン後）の動作に関する問い合わせ】

株式会社WAVE（企画室：櫻井）

電 話：03-6226-6151 メール：shogaku@waveltd.co.jp

### 【目 次】

回答方法	2
調査結果の公表について	2
データ設問の記入要項	3
本調査における用語の定義	4
調査票入力項目の説明	5
Ⅰ 学内奨学金等制度に関する調査	5
Ⅱ 日本学生支援機構奨学金に関する調査	9

※本年度の調査は、データ設問とテーマ設問で構成しています。2頁の「回答方法」や別紙「平成29年度奨学金等調査（平成28年度実績）調査項目一覧」をご確認ください。

### 【回答方法】

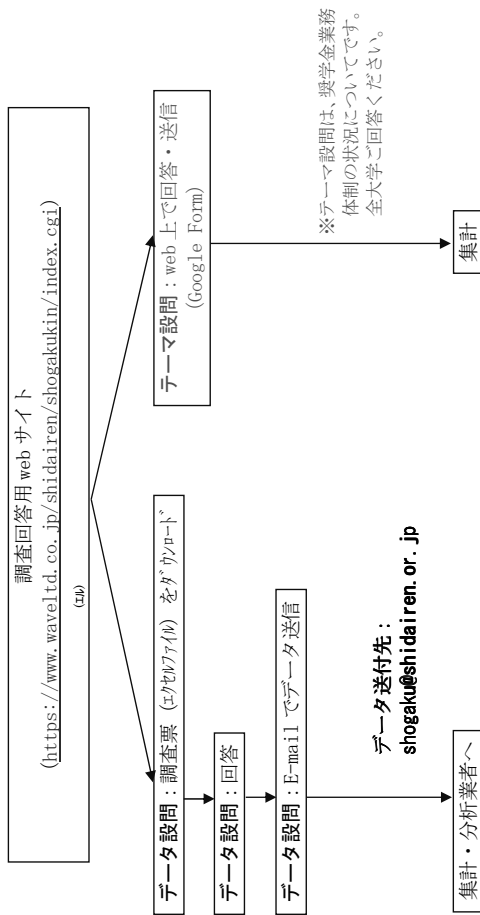
調査は、下記URLにアクセスの上、各大学用回答エクセルファイルをダウンロードしてご回答いただきます。

<https://www.waveltd.co.jp/shidaiaren/shogakukin/index.cgi>

#### 【留意点】

- ・エクセルファイルのダウンロードは、8月18日（金）から可能となります。
- ・1大学1回答のみ有効となります。
- ・奨学金部門責任者あるいはそれに準ずる方がご回答ください。
- ・ご回答に際しては、大学ごとのID並びにパスワードが必要となります。貴大学のID並びにパスワードは、会員代表者宛に通知しております。

#### 【回答イメージ】



#### 【調査結果の公表について】

調査結果は、加盟123大学の全体集計等を「平成29年度奨学金等分科会報告書」にとりまとめ、連盟webサイトで公表します。

基礎データである個別大学のデータは、加盟大学間での情報共有および各大学での制度運用の参考にしていただくことを目的として、連盟webサイト「データライブラリー」で、加盟大学教職員の皆様のみ公表します。本連盟が個別大学の数値を加盟大学以外に公表することはありません。（過去の調査結果も「データライブラリー」に掲載しています。ただし、「データライブラリー」へアクセスするには、予め利用申請が必要です。）

**【データ設問の記入要項】**

各調査票の記入方法、回答にあたってのお願いなどをまとめていますので、回答前にご一読いただき、その上で各調査票にご回答ください。

**【各調査票ー共通事項】**

1. 調査票は下記 URL よりダウンロードしてください。  
<https://www.waveltd.co.jp/shidaiiren/shogakukin/index.cgi>

※ダウンロードに際しては、大学ごとの ID 並びにパスワードが必要となります。貴大学の ID 並びにパスワードは、会員代表者宛に通知しております。

2. ダウンロードした調査票 (エクセルファイル) には5種類のシートが入っています。

【エクセルファイル内のシート】

- ・平成29年度奨学金等調査 事務連絡者名簿
- ・I ①学内奨学金等制度 (学部学生)
- ・I ②学内奨学金等制度 (大学院学生)
- ・I ③学内給費奨学金等制度 (受入れ留学生)
- ・II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

※前回 (平成28年度) 調査にご回答いただいた大学様へ  
 エクセルファイル内のシートには平成28年度調査のデータ (平成27年度実績) が入力  
 されていますので、本年度 (平成28年度実績) に修正してください。

※今回初めてご回答いただく大学様へ  
 平成28年度調査のデータ (平成27年度実績) がありませんので、本年度 (平成28年  
 度実績) に新たに入力してください。

3. 入力終了後、保存の上、下記メールアドレスまで添付送信してください。なお、データを保存  
 の際、ファイル名はダウンロードした際のファイル名 [29shogakukin\_dataXXX (3桁の数字).xls]  
 とし、変更をしないでください。

データ送信先: [shogaku@shidaiiren.or.jp](mailto:shogaku@shidaiiren.or.jp)

4. 金額を入力する回答欄には、「千円単位」で入力してください (たとえば、150,500円は百円  
 の位を切り捨てて「150」[千円]となります)。

5. 予め用意してある調査票の行数で回答が収まらない場合には、エクセルの「編集」メニューか  
 ら「シートのコピー」をして、シートを複数枚に分けてご回答ください。

6. 「平成29年度事務連絡者名簿」には、すべての項目につきまして、必ず入力してください。  
 (ご回答内容について、問い合わせさせていただきます。)

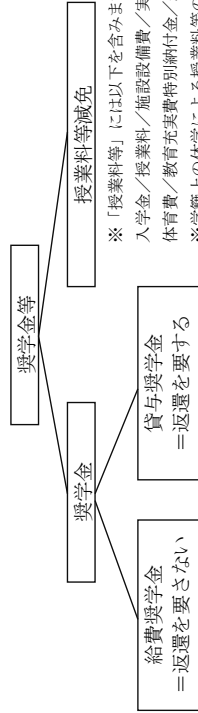
**【本調査における用語の定義】**

**【学内奨学金等制度の定義】**

学内奨学金等とは、学校法人の会計を通して、正規学生に給費あるいは貸与される奨学金のほ  
 か、授業料等の減免を含みます。

1. 奨学金の原資は、奨学金の運用により生ずる収入であるかどうかを問いません (いわゆる  
 経常費収入を原資とするものを含みます)。
2. 学内奨学金には、篤志家が学校法人に指定寄付を行った基金を原資とするいわゆる「冠」奨  
 学金を含みます。その基金を永続的に維持するかどうかは問いません。
3. 校友会等や教育後援会等からの寄付金収入を原資とする奨学金も含みます。
4. 教育ローン等で原資が学校法人以外の金融機関等であるものは含みません。
5. 教育ローンの利子補給を奨学金として経常費等で行った場合は、利子部分のみを学内奨学金  
 としてください。
6. 一時預り金等、学校法人の会計を通るものでも、それが真に一時的・名目的なものであって  
 すぐに奨学生に支払うものである場合には、含みません (例えば財団などの奨学金で一旦大学  
 が収納して、改めて奨学生に支払うケースがこれに該当します)。
7. 正規学生を調査対象とします。別科生、科目等履修生については調査の対象には含みません。

**【給費 (給付・給与) 奨学金、貸与 (貸費) 奨学金、授業料等減免の定義】**



例) 授業料が100万円のの場合

- ・授業料100万円が納入された後、50万円を給付する ⇒ 給費奨学金に該当
- ・授業料100万円が納入された後、50万円を貸し付ける ⇒ 貸与奨学金に該当
- ・授業料等を免除もしくは予め減額された金額を納入する場合 ⇒ 授業料等減免に該当

**【対象となる奨学金の定義】**

この調査では、第3号基本金引当資産のうち、寄付者の意思又は学校法人独自で設定した奨  
 学金が対象となります。

基本金とは、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するため  
 に維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額」をいいます (学校法人会  
 計基準第29条)。

その基本金は、第1号基本金から第4号基本金まであり、第3号基本金は、(奨学金、研  
 究基金、国際交流)「基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額」に  
 相当する金額を組み入れるものとされています (同基準第30条第1項第3号)。

第3号基本金の対象となる資産には、元本を継続的に保持運用することにより生じる果実を  
 教育研究活動に使用するために、寄付者の意思又は学校法人独自で設定した奨学金、研究基  
 金、海外交流基金等が該当し、これらが第3号基本金引当資産となります (第3号基本金引当  
 資産は、通常「〇〇特定資産」と表示されます)。

【調査票入力項目の説明】

I 学内奨学金等制度に関する調査

●この調査は、貴大学における学内奨学金等制度による奨学金等による平成28年度の支給実績について調査するものです。なお、特待生制度を含む授業料減免制度、学費免除制度も調査対象となります。

1. 「①学内奨学金等制度（学部学生）ー平成28年度実績一」及び「②学内奨学金制度（大学院学生）ー平成28年度実績一」について

(1) 「名称」  
当該奨学金等制度の名称（正式名称がない場合には、学内で学生に周知している名称）を入力してください。

※1 当該奨学金等制度が同一の名称で給費・貸与の両方を含んでいるときには、「〇〇奨学金（給費）」、「〇〇奨学金（貸与）」として、分けて入力してください。（【記入例1】参照）

【記入例1】

I 学内奨学金等制度に関する調査

① 学内奨学金等制度（学部学生）ー平成28年度実績一

名称	継続状況	分類	基金の有無		支給期間	給費・貸与	平成28年度支給実績		減免
			有	無			人数	金額(千円)	
1 〇〇大学奨学金(給費)	継続	A	○	○	1年間	給費	100	80,000千円	0
2 〇〇大学奨学金(貸与)	継続	A	×	×	1年間	貸与	100	7,000千円	0
3 〇〇大学奨励奨学金	新設	C	×	×	1年間	給費・貸与	10	9,000千円	0
4									
5									

※2 大学院学生に対する当該奨学金等制度において、支給対象となる課程が二つ以上あるときには、同一の名称で支給対象となる課程ごとに分けて入力してください。（【記入例2】参照）

【記入例2】

I 学内奨学金等制度に関する調査

② 学内奨学金等制度（大学院学生）ー平成28年度実績一

名称	継続状況	基金の有無	分類	支給期間	給費・貸与	平成28年度支給実績		減免
						人数	金額(千円)	
1 大学院給付奨学金	継続	有	C	2年間	給費	5	5,000千円	0
2 大学院給付奨学金	新設	有	C	2年間	給費	5	5,000千円	0
3 大学院給付奨学金	継続	有	C	2年間	給費	5	3,000千円	0
4 大学院給付奨学金	継続	有	C	2年間	給費	5	3,000千円	0
5 大学院給付奨学金	継続	有	C	2年間	給費	5	3,000千円	0
6								
7								

(2) 「継続状況」

当該奨学金等制度について「継続」「新設」いずれかを、ブルダウンメニューより選択してください。

(3) 「②学内奨学金等制度（大学院学生）ー平成28年度実績一」調査票の「支給対象（給費・貸与）」

当該奨学金等制度の支給対象となる課程を「修士課程（専門職大学院を除く）」「専門職大学院（法科大学院を除く）」「法科大学院」「博士後期課程」「博士（医・歯・薬・獣医）課程」の中から、ブルダウンメニューより選択してください。

※ なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」を選択してください。

(4) 「分類（A～H）」

下表の「学内奨学金等制度分類表（学部学生・大学院学生）」から、A～Hのうち一つを選び、該当する分類のアルファベットをブルダウンメニューより選択してください。

※ 当該奨学金等制度において分類が二つ以上該当するときは、同一の名称で分類ごとに分けて入力し、切り分けられない場合のみ、「H（その他の奨学金）」を選択してください。

【学内奨学金等制度分類表（学部学生・大学院学生）】（※拡大版は、11頁の【別表1】を参照ください。）

学内奨学金等制度分類表（学部学生・大学院学生）

区分	分類	定義	補足
奨学金	A	経済支援のための奨学金等	経済的理由により修学困難な学生を対象とする奨学金等（もっぱら学費に充てることを目的としたものであつて、教育ローンにかかわる給付を受けるものや入学費等奨学金、新卒奨励金を含む）
	B	緊急支給や災害救助のための奨学金等	緊急支給者の救済、死に等による経済的急変、火災・風水害・地震など自然災害や災害救助等による学生を対象とする奨学金等
	B'	緊急支給や災害救助のための奨学金等（東日本大震災・震災・福島原発事故等による被災者に対する奨学金等）	被災者に対する緊急支給、被災者による経済的急変、火災・風水害・地震など自然災害や災害救助等による学生を対象とする奨学金等
	C	学業成績優秀者に対する奨学金等	学業成績が特に優れた学生を対象とする奨学金等
	D	入試成績の優秀者に対する奨学金等	各種入学試験の合格者の中で、特に優れた成績を修めた学生を対象とする奨学金等
	E	特定の試験・資格取得者に対する奨学金等	大学が指定・認定する国家試験・資格試験への受験者・合格者を対象とする奨学金等
育英奨	F	スポーツ・文化・ボランティア活動の奨励を目的とする奨学金等	大学の内外において、スポーツ・文化・ボランティア活動等の分野で顕著な成績をあげ、または貢献した学生を対象とする奨学金等
	G	国際留学に関する奨学金等	海外の大学に交換留学等として派遣される学生を対象とする奨学金等（当該留学において費用が認定されるものに限る）
	H	その他の奨学金等	上記以外の「奨学金」が育英奨、のどちらにも該当しない奨学金等
	その他		

【注】1. 緊急支給や災害救助等のための奨学金等のうち、東日本大震災および福島原発事故一帯の被災者に対する奨学金等については、「B」には含めず「B'」として区分してください。

2. 本人の目的の異なる奨学金等には、奨学金および奨励金等減免を含みます。

3. 本人の目的の異なる奨学金等には、奨学金および奨励金等減免を含みます。

4. 奨学金等支給制度に関する名称、支給期間等については、奨励金等支給制度にも適用されるものと見做すものと見做すものとを区別して入力してください。

5. 奨学金等支給制度に関する名称、支給期間等については、奨励金等支給制度にも適用されるものと見做すものと見做すものとを区別して入力してください。

(5) 「基金の有無」

当該奨学金等の原資の全部あるいは一部が、奨学金基金（第3号基本金引当資産）の果実である場合は「○」、そうでない場合には「×」をブルダウンメニューより選択してください。

(6) 「支給期間（給費・貸与）」

当該奨学金等制度によって給費・貸与される期間（減免の場合は減免期間）を入力してください。たとえば「〇年間」「最長修業年限」「2年間または3年間」などを入力してください。

※ 各種奨励賞のような性格で奨励金として一時金を支給する制度等については、「1回」と入力してください。

(7) 「平成28年度支給実績」

当該奨学金等制度が給費制度であれば「平成28年度支給実績」の「給費」欄の「人数」及び「年間給費額」に、貸与制度であれば「貸与」欄の「人数」及び「年間貸与額」に、減免制度であれば「減免」欄の「人数」及び「年間減免額」に平成28年度実績を入力してください。

※1 制度は存在するが、平成28年度に支給実績がない場合は「学内奨学金制度」の各欄に 入力の上、当該奨学金等制度が給費制度であれば「給費」、貸与制度であれば「貸与」、減免制度であれば「減免」の各欄に「0」と入力してください。

※2 「平成28年度支給実績」の「年間給費額」、「年間貸与額」、「年間減免額」の金額は、平成28年度（平成28年4月から平成29年3月）に支払った「人数」全員分の実支給総額（平成28年度決算額、単位：千円）を入力してください（予算額ではありません）。

(8) 「分類B」（家計急変や災害援助等のための奨学金【うち東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応】）の記録

平成23年3月の東日本大震災および福島第一原子力発電所事故への対応記録として、「被災状況」、「奨学金等支給金額の割合」、「提出資料」、「添付資料」の各項目についても可能な限り記入してください（「分類B」の制度がある場合のみ記入してください）。

※ 記入内容は、13頁の調査票記入例を参照ください。

2. 「③学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）ー平成28年度実績ー」について

本調査では、受入れ留学生に対する給費奨学金及び授業料等減免を調査対象とし、貸与奨学金については調査の対象外とします。

(1) 「名称」

当該奨学金等制度の名称（正式名称がない場合には、学内で受入れ留学生に周知している名称）を入力してください。

※ 「名称」欄には、当該奨学金等制度において学部学生、大学院学生の両方が支給対象になる場合は、同一の名称を支給対象ごとに分けて入力してください。

【記入例】

1 学内奨学金等制度に関する調査

③ 学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）ー平成28年度実績ー

名称	継続状況	支給対象	分類(1)	基金の有無	平成28年度支給実績		
					給費	減免	貸与
				人数	年間給費額	人数	年間減免額
1 国際交流奨学金	継続	学部学生	1	○	2年間	2	1,200千円
2 国際交流奨学金	継続	大学院学生	1	○	2年間	2	1,200千円
3 ○○大学私費留学生奨学金	新設	学部学生	1	×	1年間	60	12,000千円
4 ○○大学私費留学生奨学金	新設	大学院学生	1	×	1年間	12	1,800千円
5							
6							

(2) 「継続状況」

当該奨学金等制度について「継続」「新設」「いずれかをブルダウンメニューより選択してください。

(3) 「支給対象」

当該奨学金等制度の支給対象が学部学生の場合は「学部学生」、大学院学生の場合は「大学院学生」をブルダウンメニューより選択してください。

(4) 「分類(1)」

分類Iをブルダウンメニューより選択してください。

【学内奨学金等制度分類表（受入れ留学生）】（※拡大版は、12頁の【別表2】を参照ください。）

学内奨学金等制度分類表（受入れ留学生）

区分	奨費		減免	貸与
	学内奨学金	学内奨学金		
1 受入れ留学生に関する奨学金等	学内奨学金	学内奨学金	学内奨学金	学内奨学金

【別表2】  
 (注) 1. 奨費欄には「奨学金等」は、奨学金および奨費等を含む。減免欄には「減免」は、奨学金および奨費等を含む。貸与欄には「貸与」は、奨学金および奨費等を含む。  
 2. 学内奨学金の区分は、奨学金等に関する奨学金等（学内奨学金）と奨費等に関する奨費等（奨費）とに区分される。  
 3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が設定されていないものは除く。商品券や図書券のように、換算する金額が明確なものは、奨学金として取り扱う。

(5) 「基金の有無」

当該奨学金等の原資の全部あるいは一部が、奨学金基金（第3号基本基金引当資産）の果実である場合は「○」、そうでない場合には「×」をブルダウンメニューより選択してください。

(6) 「支給期間」

当該奨学金等制度によって給費される期間（減免の場合は減免期間）を入力してください。たとえば、「○年間」「最短修業年限」「2年間または3年間」などを入力してください。

※ 各種奨励賞のような性格で奨励金として一時金を支給する制度等については、「1回」と入力してください。

(7) 「平成28年度支給実績」

当該奨学金等制度が給費制度であれば「平成28年度支給実績」の「給費」欄の「人数」及び「年間給費額」に、減免制度であれば「減免」欄の「人数」及び「年間減免額」に平成28年度実績を入力してください。

※1 制度は存在するが、平成28年度に支給実績がない場合は「学内奨学金等制度」の各欄に「0」と入力してください。

※2 「平成28年度支給実績」の「年間給費額」、「年間減免額」の金額は、平成28年度（平成28年4月から平成29年3月）に支払った「人数」全員の実支給総額（平成28年度決算額、単位：千円）を入力してください（予算額ではありません）。

## II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

この調査は、貴大学における平成28年度日本学生支援機構奨学金新規採用実績及び日本学生支援機構奨学生総件数（新規及び継続合計）について調査するものです。

### 1. 「①平成28年度新規採用実績」について

[学部]

- (1) 第一種「定期（予約採用）」、第二種「定期（予約採用）」  
新規採用件数を外数で入力してください。
- (2) 第一種「定期（在学採用）」、第二種「定期（在学採用）」 ※追加・臨時採用含む  
新規採用件数を入力してください。なお、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (3) 第一種「定期外（緊急採用）」、第二種「定期外（緊急採用）」  
新規採用件数を入力してください。
- (4) 「（入学時特別増額）」  
第一種、第二種の新規採用件数のうち、入学時特別増額貸与奨学金制度の増額採用となった件数を合算して入力してください。
- (5) 「小計①」「小計②」「総件数（①+②）」  
入力の必要はありません。

[大学院]

- (1) 第一種「定期」、第二種「定期」 ※追加・臨時採用含む  
「定期（予約採用）」新規採用件数と「定期（在学採用）」新規採用件数を合算して課程別に入力してください。なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」欄に入力してください。また、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (2) 第一種「定期外（緊急採用）」、第二種「定期外（緊急採用）」  
新規採用件数を課程別に入力してください。
- (3) 「（入学時特別増額）」  
第一種、第二種の新規採用件数のうち、入学時特別増額貸与奨学金制度の増額採用となった件数を課程別に合算して、入力してください。
- (4) 「小計①」「小計②」「総件数（①+②）」「合計」  
入力の必要はありません。

※ [学部・大学院共通]

平成25年度調査までは、臨時採用を「定期外」としてご回答をお願いしていましたが、より大学の現状に即した回答を得るために、平成27年度から「定期」としてご回答いただくことを分科会で決定いたしましたので、ご理解協力をたまわりますようしくお願いいたします。

### 2. 「②平成28年度『第二種奨学金（短期留学）』新規採用実績」について

- (1) 「計」  
平成28年度の「第二種奨学金（短期留学）」の新規採用総件数を入力してください。

※ 国内の大学等在学中に、外国の短期大学・大学・大学院に留学をするために奨学金を希望する人を対象とした「第二種奨学金（短期留学）」です。  
国内の大学・高校を卒業後、諸外国の大学・大学院へ学位取得を目的とする留学のための奨学金を希望する人を対象とした「第二種奨学金（海外）」ではありません。

### 3. 「③奨学生総件数（新規及び継続合計）（平成29年3月1日現在）」について

- (1) 「学部」の「総件数」  
第一種、第二種ともに、平成29年3月1日現在在学の奨学生総件数を入力してください。  
なお、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (2) 「大学院（課程別総件数）」  
第一種、第二種ともに、平成29年3月1日現在在学の奨学生総件数を課程別に入力してください。なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」欄に入力してください。  
また、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (3) 「計」及び「合計」  
入力の必要はありません。



学内奨学金等制度分類表(学部学生・大学院学生)

【別表1】

区分	分類	定義	補足
奨学型	A	経済支援のための奨学金等	奨学生の選考にあたり、経済的要因を学業成績に優先して選考する奨学金
	B	家計急変や災害援助等のための奨学金等	家計急変や災害等を主たる事由として奨学生を選考する奨学金等
	B'	家計急変や災害援助等のための奨学金等【うち東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応】	※上記「B」には含めず「B'」として回答ください。
育英型	C	学業成績優秀者を対象とした奨学金等	奨学生の選考にあたり、学業成績を経済的要因に優先して選考する奨学金等
	D	入試成績の優秀者を対象とした奨学金等	奨学生の選考にあたり、入学試験成績を他の要件に優先して選考する奨学金等
	E	特定の試験・研修の受験・受講者を対象とする奨学金や、学術褒賞・教育研究奨励を目的とする奨学金等	特定試験の受験を条件とする奨学金、または学業面で特に優れた成果をあげ学内外で表彰を受けたことを選考の要件とする奨学金等
	F	スポーツ・文化・ボランティア活動の優秀者を対象とした奨学金等	スポーツ、文化、ボランティア活動等において顕著な成果をあげ、または貢献した学生を対象とする奨学金等
	G	派遣留学生に関する奨学金等	留学生として派遣されることを要件とする奨学金等
その他	H	その他の奨学金等	(1)一つの制度に奨学と育英両方の基準があり、その基準別に対象学生を選入し、奨学金を支給する場合は、同一の名称で奨学型の分類と育英型の分類とに分けて回答してください。 (2)1人の学生に支給する奨学金で、奨学型と育英型両方の要因が含まれる場合は、支給事由の強い方の区分からA～Gいずれかの分類を選択してください。

【注】

1. 家計急変や災害援助等のための奨学金等のうち、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故への対応については、「B」には含めず「B'」として回答ください。
2. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
3. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。  
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
4. 奨学金や減免制度といった名称、支給業務の取扱部署、支給根拠規程等にかかわらず、表彰制度等による報奨金並びに商品券や図書券のように給費する金額が明確なものは奨学金として取り扱う(賞状や記念品等のように、明確な金額が確定しないものは除く)。

11

学内奨学金等制度分類表(受入れ留学生)

【別表2】

区分	分類	定義	補足
I	受入れ留学生に関する奨学金等	受入れ留学生を対象とする奨学金等(入学免除や奨励金、家賃補助、授業料減免等を含む)	

【注】

1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。  
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が確定しないものは除外する。商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱う。

12

# 調査票記入例

## I 学内奨学金等制度に関する調査

### ① 学内奨学金等制度(学部学生)－平成28年度実績－

大学名

(金額単位: 千円)

申請時の必要書類

選考過程で求める場合があるその他の書類

学内奨学金等制度	学内奨学金等制度				平成28年度支給実績				分類①の記録(家計急変や災害援助等のための奨学金【うち東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応】)				
	名称	継続状況	分類(A~H)	基金の有無	給費		貸与		減免	被災状況	奨学金等給付金額の割合	提出資料	添付書類
					人数	年間給費額	人数	年間貸与額					
1	〇〇大学奨学金(給費)	継続	A	○	1年間	100	80,000千円						
2	〇〇大学奨学金(貸与)	継続	A	×	1年間			100	7,000千円				
3	〇〇大学学業奨励奨学金	新設	C	×	1年間					10	9,600千円		
4	〇〇大学東日本大震災特別奨学金	新設	B	×	1年間	5	5,000千円					家屋の全壊	授業料全額 申請書、申請票、家計状況資料、使途の経過報告書、振込口座届、父および母の所得証明書
5	〇〇大学東日本大震災特別奨学金	新設	B	×	1年間	10	3,000千円					家屋の一部損壊	授業料の50%の範囲内 申請書、申請票、家計状況資料、使途の経過報告書、振込口座届、父および母の所得証明書
6	〇〇大学入試特別措置	新設	B	×	1回				5	1,000千円		福島第一原発事故のため避難区域に指定	入学金全額 .....
7													
8													
9													
10													

一つの奨学金等制度に対して、該当する被災状況が複数ある時には、被災状況ごとに分けて入力してください。

「被災状況」欄について  
 保証人(家計支持者)の死亡等  
 家庭(住家、住居)の全壊(焼)、大規模半壊  
 家庭(住家、住居)の半壊(焼)  
 家庭(住家、住居)の一部損壊  
 東日本大震災で被災し、かつ家計が激変  
 福島第一原発事故のため避難区域に指定  
 等、対象となる被災状況をご記入ください。

145													
146													
147													
148													
149													
150													

I 学内奨学金等制度に関する調査

① 学内奨学金等制度(学部学生)ー平成28年度実績ー

<b>大学名</b>	
------------	--

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	学内奨学金等制度					平成28年度支給実績					分類別の記録(家計急変や災害援助等のための奨学金【うち東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応】)				
	名称	継続状況	分類(A~F)	基金の有無	支給期間(給費・貸与)	給 費		貸 与		減 免		被災状況	奨学金等給付金額の割合	提出資料	添付資料
						人数	年間給付額	人数	年間貸与額	人数	年間減免額				

I 学内奨学金等制度に関する調査

② 学内奨学金等制度(大学院生)ー平成28年度実績ー

<b>大学名</b>	
------------	--

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	学内奨学金等制度						平成28年度支給実績					分類別の記録(家計急変や災害援助等のための奨学金【うち東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応】)				
	名称	継続状況	支給対象(給費・貸与)	分類(A~F)	基金の有無	支給期間(給費・貸与)	給 費		貸 与		減 免		被災状況	奨学金等給付金額の割合	提出資料	添付資料
							人数	年間給付額	人数	年間貸与額	人数	年間減免額				

I 学内奨学金等制度に関する調査

③ 学内奨学金等制度(受入れ留学生)－平成28年度実績－

大学名	
-----	--

(金額単位:千円)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	学内奨学金等制度						平成28年度支給実績			
	名称	継続状況	支給対象	分類(1)	基金の有無	支給期間	給費		減免	
							人数	年間給費額	人数	年間減免額

II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

大学名	
-----	--

①平成28年度新規採用実績

制度	学部		新規採用件数
	採用の種類		
第一種	定期(予約採用)		
	定期(在学採用)		
	定期外(緊急採用)		
	小計①		0
第二種	定期(予約採用)		
	定期(在学採用)		
	定期外(緊急採用)		
	小計②		0
	総件数(①+②)		0
	(入学時特別増額)		

(注) 1. 第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。  
 2. 「(入学時特別増額)」は、「第一種・」第二種」採用件数のうち、増額採用となった件数を入力してください。  
 3. 「修士課程」には博士前期課程を含みます。  
 4. 網掛け部分(小計・合計欄)は入力しないでください。

②平成28年度「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

学部	大学院
(新規採用件数)	(新規採用件数)
計	

※「第二種奨学金(海外)」ではありません。

制度	採用の種類	大 学 院				合 計
		課程別新規採用件数				
第一種	定期	修士課程 (専門職大学院を除く)	法科大学院	博士後期課程	博士(医・歯・薬・獣医) 課程	0
	定期外(緊急採用)					0
	小計①	0	0	0	0	0
第二種	定期					0
	定期外(緊急採用)					0
	小計②	0	0	0	0	0
	総件数(①+②)	0	0	0	0	0
	(入学時特別増額)					0

③奨学生総件数(新規及び継続合計)(平成28年3月1日現在)

制度	大学院(課程別総件数)				合 計
	学部				
第一種	修士課程 (専門職大学院を除く)	法科大学院	博士後期課程	博士(医・歯・薬・獣医) 課程	0
					0
	計	0	0	0	0

# 日本私立大学連盟 平成29年度奨学金等調査（平成28年度実績）調査項目一覧

平成29年度奨学金等調査は「データ設問」と「テーマ設問」についてご回答いただきます。以下に  
列挙する調査項目は、ご回答に際して内容を事前にご確認いただくためにお示しするものです。「デー  
タ設問」につきましては、ウェブ上よりエクセルファイルをダウンロードいただき、ご回答いただきま  
す。「テーマ設問」は、ウェブ上でご回答を直接ご入力いただきます。

## データ設問：学内奨学金等制度に関する調査、日本学生支援機構奨学金に関する調査

平成29年度奨学金等調査 事務連絡者名簿

- I ①学内奨学金等制度（学部学生）
- I ②学内奨学金等制度（大学院学生）
- I ③学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）
- II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

＜エクセルファイルダウンロードサイト、下記テーマ設問回答サイトへのリンク＞

※大学別のIDとパスワードは調査依頼文書に記載しております。

<https://www.waveltd.co.jp/shidairen/shogakukin/index.cgi>

## テーマ設問：奨学金業務体制に関する調査

平成29年度はテーマ設問として、奨学金業務の体制について、とくに業務委託の状況について調査を行い、各  
大学の業務体制見直しの際の参考としてご活用いただくこととしました。ご回答のご協力をよろしくお願い申し上げ  
ます。回答は上記のサイトに表示のリンクから回答サイトへアクセスしてweb上で回答を入力してください。

なお、回答については集計を行い、報告書に掲載するとともに、当連盟webサイトにおいて公表します。個別大  
学の回答については、同サイトの加盟大学専用ページ内にある「データライブラリー」にのみ掲載します。回答者名、  
メールアドレス、電話番号等の取扱いについては当連盟の「個人情報保護方針」に沿って適切に行います。

一般社団法人日本私立大学連盟 学生委員会奨学金等分科会

### 【お問い合わせ先】

一般社団法人日本私立大学連盟

教学支援課

電話:03-3262-3603

メール:[kyogaku@shidairen.or.jp](mailto:kyogaku@shidairen.or.jp)

\*\*\*\*\*

- ★メールアドレス ( )
- ★大 学 名 ( )
- ★回答者 所属部署・役職等 ( )
- ★回答者 氏名 ( )
- ★回答者 連絡先電話番号 ( )



### 【外部委託先】

Q 5 委託先業者はどこですか？ 業務委託を検討中等で確定していない場合は、現時点でのお考えをお答えください。【複数選択可】

- 大学の関連企業（学校法人出資の会社など）
- 派遣会社（業務委託契約）
- 一般的な企業（上記大学関連企業、派遣会社を除く）
- その他（ )

### 【外部委託先選定のポイント】

Q 6 委託先業者選定にあたり重視したポイントは何ですか？ 業務委託を検討中等の場合は、現時点でのお考えをお答えください。【2つまで選択】

- 専門的知識があること
- 処理能力が高いこと
- 学内ノウハウの継承が可能であること
- 信頼性が高いこと
- 費用が妥当であること
- その他（ )

## (2)担当職員数

### 【担当職員数(留学支援の奨学金以外)】

Q 7 留学支援以外の奨学金業務担当職員（専任・非専任、常勤・非常勤を問わない。ただし、臨時のアルバイト等は除く）は何人ですか？

( ) 人

Q 8 Q 7の職員のうち、専任職員（常勤）は何人ですか？

( ) 人

Q 9 Q 8の専任職員（常勤）のうち、日本学生支援機構奨学金業務担当は何人ですか？

( ) 人

Q10 Q 8の専任職員（常勤）のうち、学内奨学金業務担当は何人ですか？

( ) 人

### 【担当職員数(留学支援の奨学金)】

Q11 留学支援の奨学金業務担当職員（専任・非専任、常勤・非常勤を問わない。ただし、臨時のアルバイト等は除く）は何人ですか？

( ) 人

Q12 Q11の職員のうち、専任職員（常勤）は何人ですか？

( ) 人

Q13 Q12の専任職員（常勤）うち、JASSO日本学生支援機構奨学金担当は何人ですか？

( ) 人

Q14 Q12の専任職員（常勤）のうち、学内奨学金担当は何人ですか？

( ) 人

以 上

平成29年度学生委員会委員

担当理事	土屋 恵一郎	明治大学	学長
委員長	齊藤 泰治	早稲田大学	学生部長・政治経済学術院教授
委員	森 正明	中央大学	学生部長・文学部教授
	上田 雅弘	同志社	学生支援機構学生支援センター所長・商学部教授
	永星 浩一	福岡大学	学生部長・商学部教授
	神澤 信行	上智学院	学生センター長・理工学部教授
	笹倉 淳史	関西大学	キャリアセンター所長・商学部教授
	山口 隆之	関西学院	学生活動支援副機構長（学生部長）・商学部教授
	千田 憲孝	慶應義塾	学生総合センター長・理工学部教授
	岡本 大輔	慶應義塾	商学部教授
	越川 芳明	明治大学	副学長（学務担当兼学生部長）・文学部教授
	北條 英勝	武蔵野大学	教務部長・人間科学部教授
	岡田 悦典	南山学園	学生部長・法学部教授
	坂本 雅士	立教学院	学生部長・経済学部教授
	長澤 克重	立命館	学生部長・産業社会学部教授

（平成30年3月現在）

平成29年度学生委員会奨学金等分科会委員

分科会長	坂本 雅士	立教学院	学生部長、経済学部教授
委員	柏木 宏江	中央大学	学生部事務室厚生課長
	杉山 孝	法政大学	学生センター厚生課長
	加来 信人	慶應義塾	学生部福利厚生支援担当課長
	永島 庸介	立教学院	学生厚生課長
	古島 夏樹	立命館	学生部衣笠学生オフィス（平成29年11月就任）
	真島 國浩	立命館	産業社会学部事務室事務長補佐（元BKC学生オフィス課長補佐）（平成29年10月辞任）
	矢古宇 克昌	早稲田大学	学生部奨学課長（平成30年1月就任）
	岡崎 成光	早稲田大学	大学院経営管理研究科調査役（前学生部奨学課長）（平成29年12月辞任）

（平成30年3月現在）

担当事務局 教学支援課

課長 相坂 太郎

課員 千葉 謙太

課員 佐藤 諒

専門職 友田 暁子（平成29年4月1日～平成29年11月31日武蔵野大学より出向）

専門職 小金澤 亜矢（平成29年12月1日～武蔵野大学より出向）



# 一般社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧

(大学名ABC順)

(123大学 平成30年3月現在)

愛知大学	城西大学	武蔵野大学	白百合女子大学
亜細亜大学	城西国際大学	武蔵野美術大学	昭和女子大学
青山学院大学	順天堂大学	名古屋学院大学	園田学園女子大学
跡見学園女子大学	関西大学	南山大学	創価大学
梅花女子大学	関西学院大学	日本大学	大正大学
文教大学	関東学園大学	日本女子大学	拓殖大学
筑紫女学園大学	関東学院大学	ハートランド清心女子大学	天理大学
中京大学	慶應義塾大学	大阪学院大学	東邦大学
中央大学	恵泉女学園大学	大阪医科大学	東北学院大学
大東文化大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東北公益文科大学
獨協大学	神戸女学院大学	大阪薬科大学	東海大学
獨協医科大学	神戸海星女子学院大学	大谷大学	常磐大学
同志社大学	皇學館大学	追手門学院大学	東京医療保健大学
同志社女子大学	國學院大学	立教大学	東京情報大学
フェリス女学院大学	国際大学	立正大学	東京女子大学
福岡大学	国際武道大学	立命館大学	東京女子医科大学
福岡女学院大学	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学	東京経済大学
福岡女学院看護大学	駒澤大学	龍谷大学	東京農業大学
学習院大学	甲南大学	流通科学大学	東京歯科大学
学習院女子大学	久留米大学	流通経済大学	苫小牧駒澤大学
白鷗大学	共立女子大学	西武文理大学	東洋大学
阪南大学	京都産業大学	聖学院大学	東洋英和女学院大学
姫路獨協大学	京都精華大学	成城大学	東洋学園大学
広島女学院大学	京都橘大学	聖カタリナ大学	豊田工業大学
広島修道大学	松山大学	成蹊大学	津田塾大学
法政大学	松山東雲女子大学	西南学院大学	和光大学
兵庫医科大学	明治大学	清泉女子大学	早稲田大学
兵庫医療大学	明治学院大学	聖心女子大学	山梨英和大学
石巻専修大学	宮城学院女子大学	仙台白百合女子大学	四日市大学
実践女子大学	桃山学院大学	専修大学	四日市看護医療大学
上智大学	武蔵大学	芝浦工業大学	

平成29年度奨学金等分科会報告書

---

平成30年3月発行

編集者 奨学金等分科会  
分科会長 坂本雅士

発行者 学生委員会  
担当理事 土屋恵一郎  
委員長 齊藤泰治

発行所 一般社団法人日本私立大学連盟  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館7階  
電話 03-3262-3603 FAX 03-3262-3604  
ホームページ: <http://www.shidairen.or.jp/>

印刷所 大盛印刷株式会社  
〒171-0032 東京都豊島区雑司ヶ谷1-48-17  
電話 03-3971-1246 FAX 03-3988-2945

---

© The Japan Association of Private Universities and Colleges, 2018

\*無断転載を禁じます。





日本私立大学連盟